

# 鱒ヶ沢町地域公共交通計画

(案)

令和 6 年〇月



[ 目 次 ]

<b>1. はじめに</b> .....	<b>1</b>
1-1 計画の背景と目的 .....	1
1-2 計画の位置づけ .....	2
1-3 計画の対象区域と期間 .....	3
1-4 計画の対象となる交通手段 .....	4
1-5 本町の公共交通における SDGS の役割 .....	7
<b>2. 地域特性など</b> .....	<b>8</b>
2-1 地勢など .....	8
2-2 町内の主な施設 .....	9
2-3 人口動態 .....	18
2-4 自家用車保有状況 .....	21
2-5 取り巻く社会環境の変化 .....	22
<b>3. 公共交通の現状など</b> .....	<b>23</b>
3-1 公共交通の運行状況など .....	23
3-2 公共交通ネットワークの現状など .....	24
<b>4. 公共交通の課題</b> .....	<b>36</b>
4-1 網形成計画の振り返り .....	36
4-2 公共交通の課題 .....	39
<b>5. 計画において目指す方向性</b> .....	<b>44</b>
5-1 計画の基本理念と基本方針 .....	44
5-2 計画の基本目標 .....	44
5-3 目標の評価指標 .....	45
5-4 公共交通ネットワークの将来イメージ .....	46
<b>6. 目標を達成するための施策と推進体制など</b> .....	<b>47</b>
6-1 目標と施策の関係性 .....	47
6-2 目標1を達成するための施策 .....	48
6-3 目標2を達成するための施策 .....	50
6-4 目標3を達成するための施策 .....	51
6-5 計画の推進体制と推進方法 .....	54



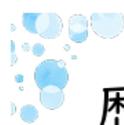
# 1.はじめに

## 1-1 計画の背景と目的

- 本町では、公共交通に係る方針や、それらを踏まえた具体的な取組の方向性を示す、「鱒ヶ沢町地域公共交通網形成計画（以下、「網形成計画」という）」を平成 28（2016）年 3 月に策定し、これらの計画に基づき、町内のコミュニティバス（あじバス）の運行などをはじめ、各種取組を進めてきており、町内における住民の利便性向上を図ってきたが、令和 2（2020）年度を最終年度として計画期間が終了した。
- 今後も人口減少・少子高齢化が加速していく中、町民生活の足である地域公共交通を維持確保していくためには、地域の実情や特性に応じた利便性が高く効率的な公共交通を整備していくことが重要であり、地域、交通事業者、行政が同じ課題や方針を共有し、交通資源の有効活用や利用促進などの取組を進めていく事が必要である。
- また、令和 2（2020）年度の地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正などにより、網形成計画の後継的な位置付けとなる地域公共交通計画の策定が努力義務化されるとともに、計画の策定と国の補助制度が連動することとなった。
- このような背景を踏まえ、新たな公共交通のマスタープランである「鱒ヶ沢町地域公共交通計画」を策定する。

## 1-2 計画の位置づけ

- 地域公共交通計画には、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする「マスタープラン(ビジョン+事業体系を記載するもの)」としての役割を果たすことが求められている。
- 「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」とは、言い換えれば「地域の将来像の実現に向けた公共交通のあるべき姿」であると考えられる。本計画においては、地域の公共交通を最大限活用するとともに、地域の輸送資源を最大限有効活用する具体策を盛り込むことで、まちづくり全般（都市計画、福祉、観光、教育など）とも連携・整合を図り、地域が一丸となって推進することが重要となる。



(基本テーマ)

# 歴史と海・山・川が人と人をつなぐまち 鱒ヶ沢

～オール鱒ヶ沢で持続可能なまちづくりに進取果敢に挑む～



図 鱒ヶ沢町の基本テーマ（「第6次鱒ヶ沢町長期総合計画」より）

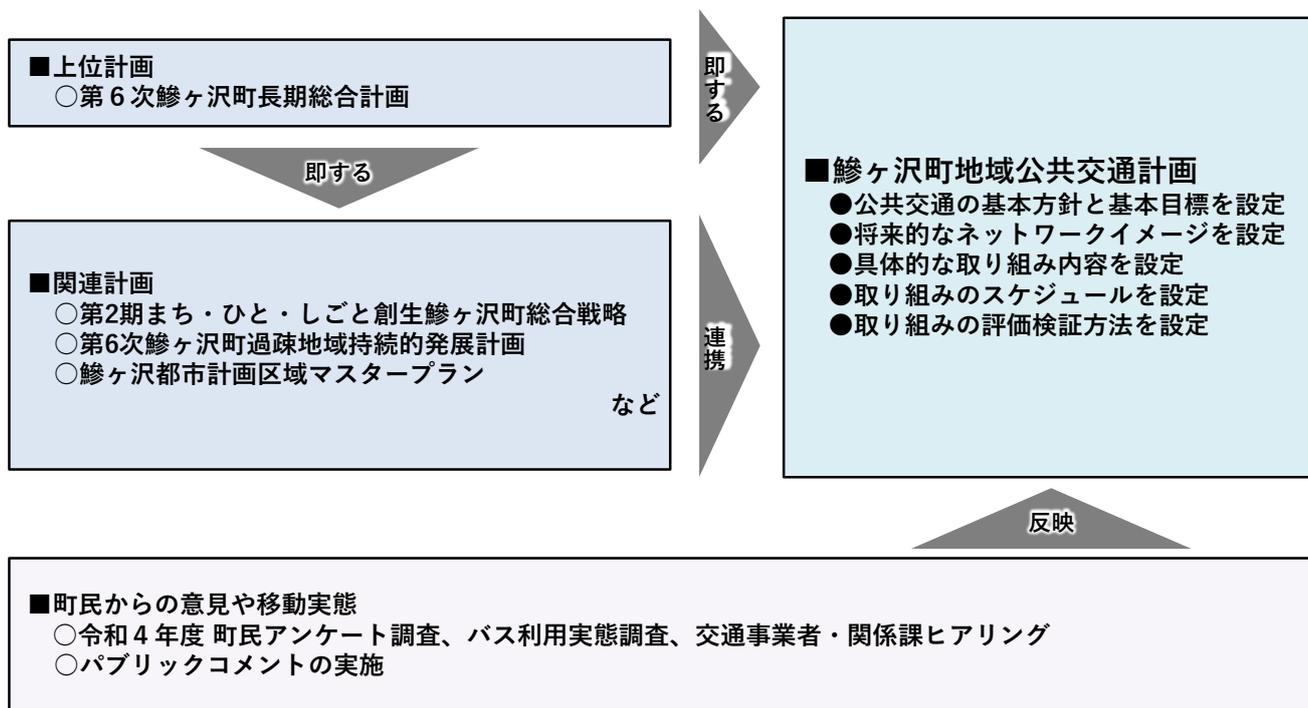


図 計画の位置づけ

### 1- 3 計画の対象区域と期間

- 本計画の対象範囲は、鱒ヶ沢町全域とする。
- 本計画の期間は、令和 6（2024）年度から令和 10（2028）年度までの 5 か年とする。
- なお、本計画に示す内容などについては、総合計画の見直しや社会情勢の変化など、公共交通に関する状況に変化が生じた場合には、必要に応じて見直しを図る。

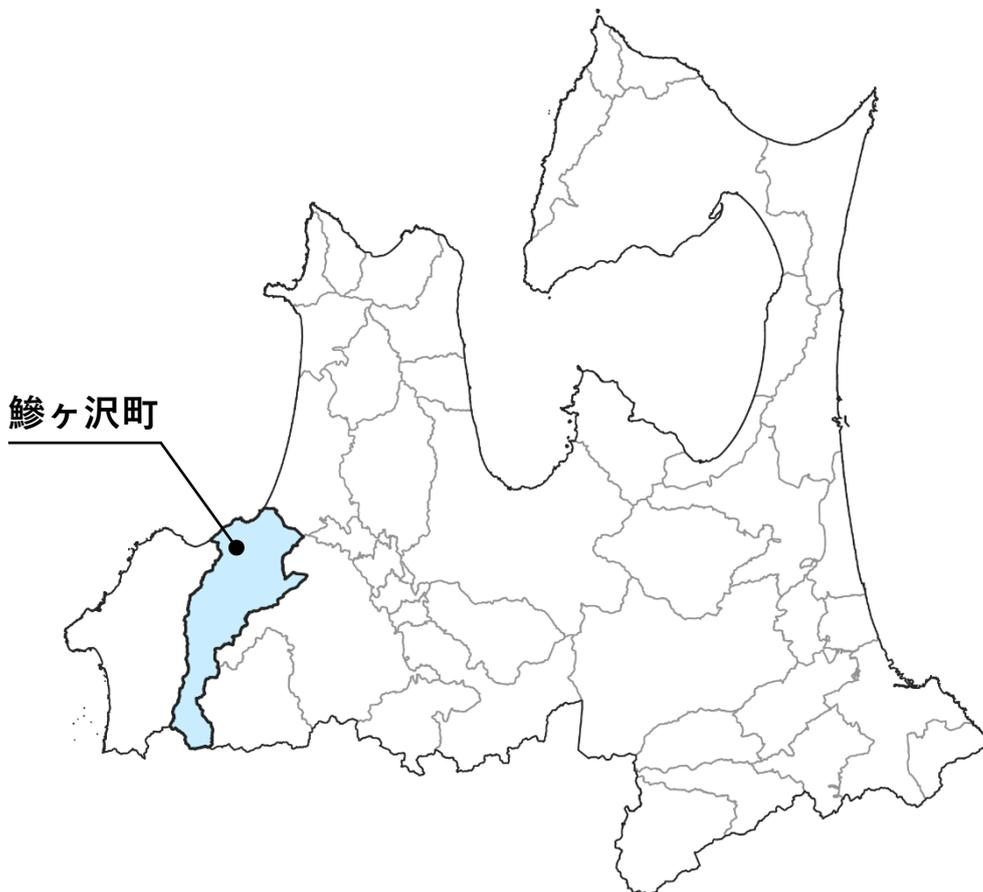


図 対象区域

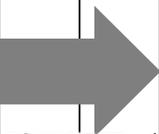
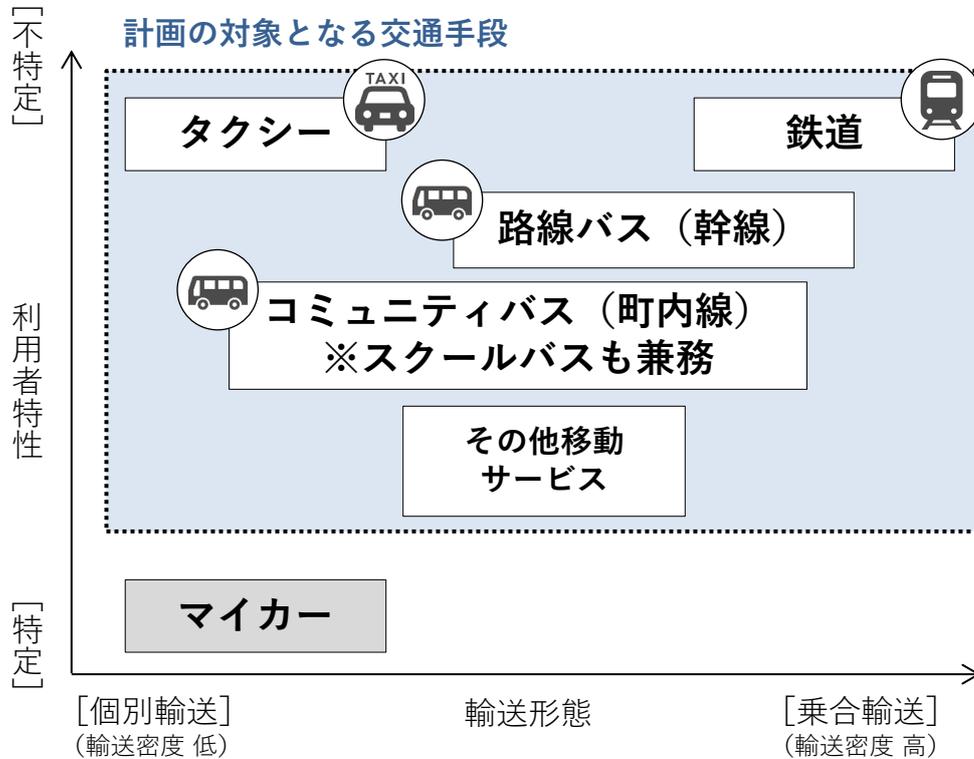
	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度	令和 14 年度	令和 15 年度	令和 16 年度	令和 17 年度	令和 18 年度
第 6 次 鱒ヶ沢町長期 総合計画	 計画期間（令和3～7年度）												
鱒ヶ沢町 地域公共交通 計画	 公共交通計画（令和6～10年度）					次期計画に向けて見直しを検討 * 必要に応じて計画期間内でも適宜見直しを検討							

図 計画期間

## 1-4 計画の対象となる交通手段

○本計画の検討対象となる交通手段は以下のとおり。



\* その他移動サービスについて、図中で示したもの以外にも自家用有償旅客運送や福祉輸送、病院・商業施設・宿泊施設・企業など送迎サービスとも適切に連携

図 対象となる交通手段

## 1-4-1 鱒ヶ沢町長期総合計画における考え・位置づけなど

○移動に関する考え方について、最上位計画では以下のように示されている。

表 移動環境等に関する考え方の記載（第6次鱒ヶ沢町長期総合計画より）

分野	内容
公共交通全般	<p>■受入体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日旅行をはじめとする多様な来訪者が満足できる受入体制の構築を図るため、観光資源の魅力向上や観光二次交通システムを確保</li> </ul> <p>■公共交通の維持・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスをはじめ、町内公共交通の維持、利用促進を図り、交通弱者への配慮などに視点を置いた町民の移動手段の確保</li> <li>・買い物支援等バスについては、高齢者ニーズを見極め、見守り要素が強い福祉型の買い物支援などを推進</li> </ul>
まちづくり	<p>■まちなかの賑わいの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎の移転などにより人の流れが変化した町内エリアなどへ新たな価値や魅力の定着、再生を図り、まちなかに人の流れを誘導する賑わいの創出</li> </ul>
観光	<p>■観光コンテンツの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西北五 7 市町及び五所川原圏域において、関係団体や事業者、観光資源間の有機的な連携を図り、広域観光ルートや観光商品の開発を推進し、観光消費を拡大</li> <li>・広域観光との連携に併せて、本町の持つ特徴や強みを生かした町内の観光コンテンツに磨きをかけ、自立した観光業を育成</li> </ul>
交通サービス	<p>■除排雪体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・降雪・積雪に対応したきめ細かな除排雪体制など、快適で安全な交通環境を確保するとともに、町民のニーズや少子高齢化社会に対応した公共交通の維持・確保と利便性の向上</li> </ul> <p>■地域間連携の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内や近隣地域の自治体と産業振興や雇用創出、生活機能、公共交通など、相互の発展につながる課題の共有、役割を分担するなど、多様な広域連携を推進することにより、必要な生活機能などの確保に向けた検討や課題解決への取組</li> </ul>

## 1-4-2 関連計画に記載される事項

○移動に関する考え方について、関連計画では以下のように示されている。

表 取組内容（一部抜粋）

計画名	内容
<p>第2期まち・ひと・しごと創生 鱒ヶ沢町総合戦略</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民が安心して移動・外出できる地域公共交通ネットワークの維持・構築</li> <li>・公共交通機関によるアクセス確保により、利便性の向上と地域活性化の促進</li> </ul>
<p>第8期鱒ヶ沢町 介護保険事業計画 ・高齢者保健福祉計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物については町コミュニティバス（あじバス）の利用でカバーし、見守りについては福祉担当部署と協議を進め新しい体制を確立</li> <li>・交通安全教育の取組や、運転免許証自主返納者に対する町コミュニティバスの運賃無料化により、高齢者の交通安全の意識高揚や環境整備を促進</li> <li>・高齢者のニーズや地域を取り巻く状況を踏まえ、町内の商店・スーパーなどと連携し、「買い物バス」「買い物代行宅配」「移動販売」の3形態によって、移動手段がない人や外出が困難な人など、買い物難民・買い物弱者となっている高齢者などのサポートを促進</li> </ul>
<p>第6次鱒ヶ沢町 過疎地域持続的 発展計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通の確保対策については、住民生活・暮らしを支える社会基盤として不可欠なコミュニティバスの利用促進のため、オープンデータ化や住民への積極的な周知に努める。また、深浦町・五所川原市・弘前市とそれぞれ結ぶ弘南バス生活路線の維持存続のため、引き続き補助を実施</li> </ul>
<p>鱒ヶ沢 都市計画区域 マスタープラン</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鱒ヶ沢駅での交通結節機能の強化と公共交通の利便性の向上を図る</li> </ul>

## 1- 5 本町の公共交通における SDGs の役割

- SDGs (Sustainable Development Goals) とは、国際的に持続可能な社会システムを上げるために、17 項目の具体的目標を掲げて取り組むものであり、発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、我が国としても積極的に取り組んでいる。
- 本町においても、長期総合計画内で「脱炭素・循環型社会への対応」を取組の展開の1つとして掲げている。
- また、再生可能エネルギー (以下「再エネ」という。) のポテンシャルを踏まえ、再エネを活用し、地域の経済社会への裨益や共生の仕組みを広域的かつ効果的に生み出すために、西つがる3市町 (つがる市・鱒ヶ沢町・深浦町) 共同で、再エネを活用した地域形成に係る構想として『西つがる3市町再生可能エネルギー導入計画』を策定している。
- さらに、令和5 (2023) 年度内に『西つがる3市町地球温暖化対策実行計画』を策定する予定である。
- 電動自動車の普及促進 (公共交通車両・自家用車) として、令和32 (2050) 年までに全ての旅客自動車 (乗合・乗用車) のEV転換やEV用充電設備の拡大などの施策を掲げている。
- 総合計画に示される基本政策の実現に寄与するために、公共交通の分野では以下に示す方向性を持って本計画の検討を進める。



図 SDGs に掲げる 17 のゴール





表 公共施設

No	種別	施設名称	住所
1	役場	鱒ヶ沢町役場	鱒ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321
2	公民館	鱒ヶ沢町中央公民館	鱒ヶ沢町大字本町209-2
3	公民館	舞戸公民館	鱒ヶ沢町大字舞戸町字上富田149-2
4	公民館	中村公民館	鱒ヶ沢町大字中村町字中山ノ井170-1
5	公民館	鳴沢公民館	鱒ヶ沢町大字北浮田町字外馬屋33
6	公民館	赤石公民館	鱒ヶ沢町大字赤石町字宇名原232-2
7	文化施設	日本海拠点館	鱒ヶ沢町大字舞戸町字北禿181
8	文化施設	光信公の館（種里城跡）	鱒ヶ沢町大字種里町字大柳90
9	文化施設	自然観察館「ハロー白神」	鱒ヶ沢町大字一ツ森町字吉川30-1
10	スポーツ施設	大高山総合公園	鱒ヶ沢町大字舞戸町字西松島304-2
11	スポーツ施設	鱒ヶ沢町勤労者体育センター	鱒ヶ沢町大字舞戸町字小夜51-1
12	スポーツ施設	鱒ヶ沢町室内温水プール	鱒ヶ沢町大字舞戸町字小夜51-1

資料：鱒ヶ沢町 HP、鱒ヶ沢町データブック 2022



表 医療施設

No	種別	施設名称	住所	病床数
1	病院	鱒ヶ沢病院	鱒ヶ沢町大字舞戸町字蒲生106-10	60
2	一般診療所	越前医院	鱒ヶ沢町大字舞戸町字上富田220-1	19
3	一般診療所	あじがさわクリニック	鱒ヶ沢町大字舞戸町字下富田57-3	0
4	一般診療所	七ツ石内科	鱒ヶ沢町大字七ツ石町27-1	0
5	歯科	かなざわ歯科医院	鱒ヶ沢町大字舞戸町字蒲生124-1	0
6	歯科	かねこ歯科医院	鱒ヶ沢町大字舞戸町字下富田56-12	0

資料：地域医療情報システム、各事業者 HP

### 2-2-3 商業施設

○商業施設は 13 施設立地している。

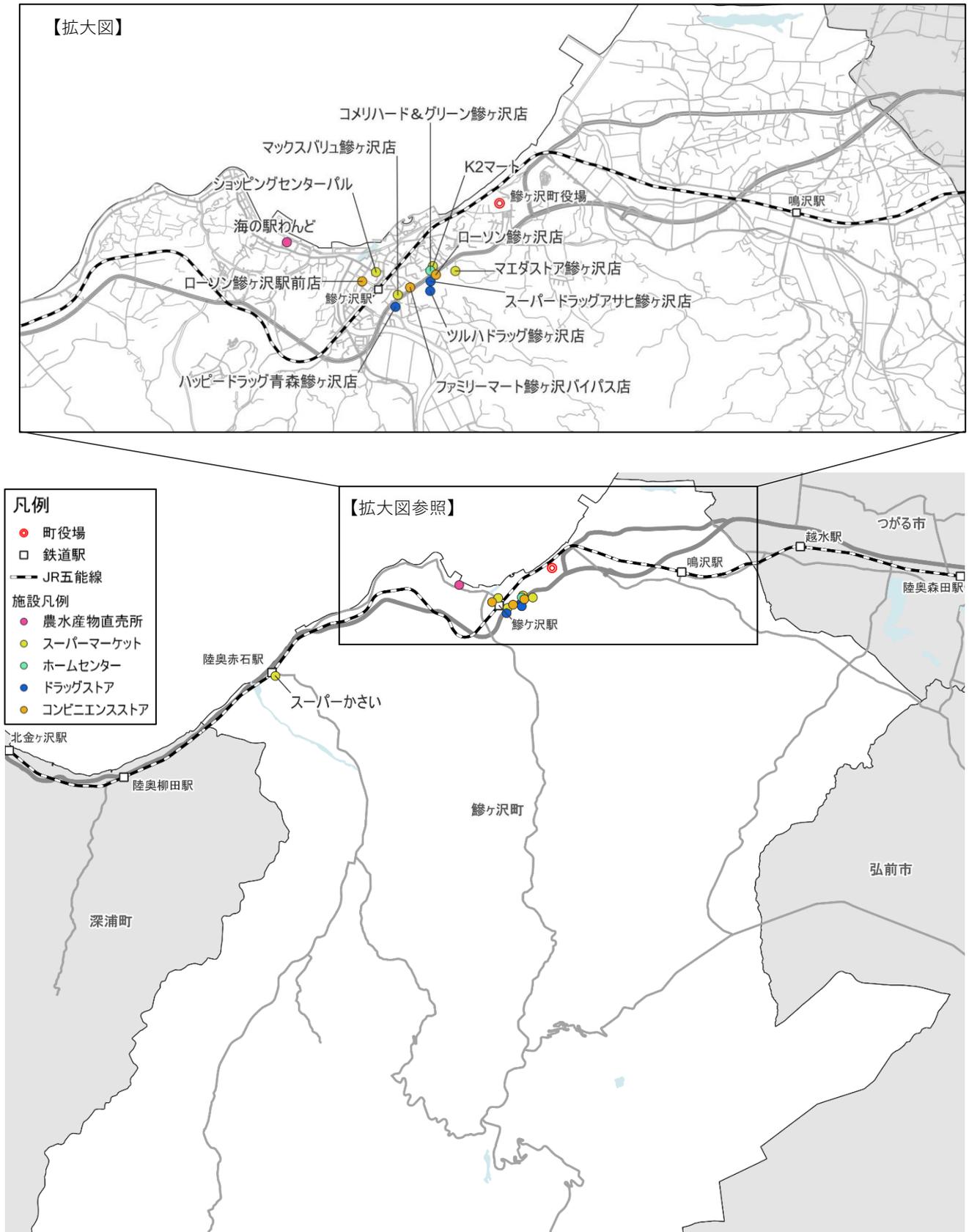


図 商業施設分布図

資料：青森県 HP、各事業者 HP

表 商業施設

No	種別	施設名称	住所
1	農水産物直売所	海の駅わんど	鱒ヶ沢町大字本町246-4
2	スーパーマーケット	マエダストア鱒ヶ沢店	鱒ヶ沢町大字舞戸町字西禿6-3
3	スーパーマーケット	K2マート	鱒ヶ沢町大字舞戸町字西禿25-2
4	スーパーマーケット	ショッピングセンターパル	鱒ヶ沢町大字舞戸町字上富田149-2
5	スーパーマーケット	マックスバリュ鱒ヶ沢店	鱒ヶ沢町大字舞戸町字下富田64-2
6	スーパーマーケット	スーパーかさい	鱒ヶ沢町大字赤石町字宇名原16-1
7	ホームセンター	コメリハード&グリーン鱒ヶ沢店	鱒ヶ沢町大字舞戸町字西禿23-1
8	ドラッグストア	スーパードラッグアサヒ鱒ヶ沢店	鱒ヶ沢町大字舞戸町字西禿18-1
9	ドラッグストア	ツルハドラッグ鱒ヶ沢店	鱒ヶ沢町大字舞戸町字久富17-8
10	ドラッグストア	ハッピードラッグ青森鱒ヶ沢店	鱒ヶ沢町大字舞戸町字下富田58-1
11	コンビニエンスストア	ローソン鱒ヶ沢店	鱒ヶ沢町大字舞戸町字西禿23-10
12	コンビニエンスストア	ローソン鱒ヶ沢駅前店	鱒ヶ沢町大字舞戸町字下富田29-44
13	コンビニエンスストア	ファミリーマート鱒ヶ沢バイパス店	鱒ヶ沢町大字舞戸町字下富田91-1

資料：青森県 HP、各事業者 HP

### 2-2-4 教育施設

○教育施設は4施設が立地している。

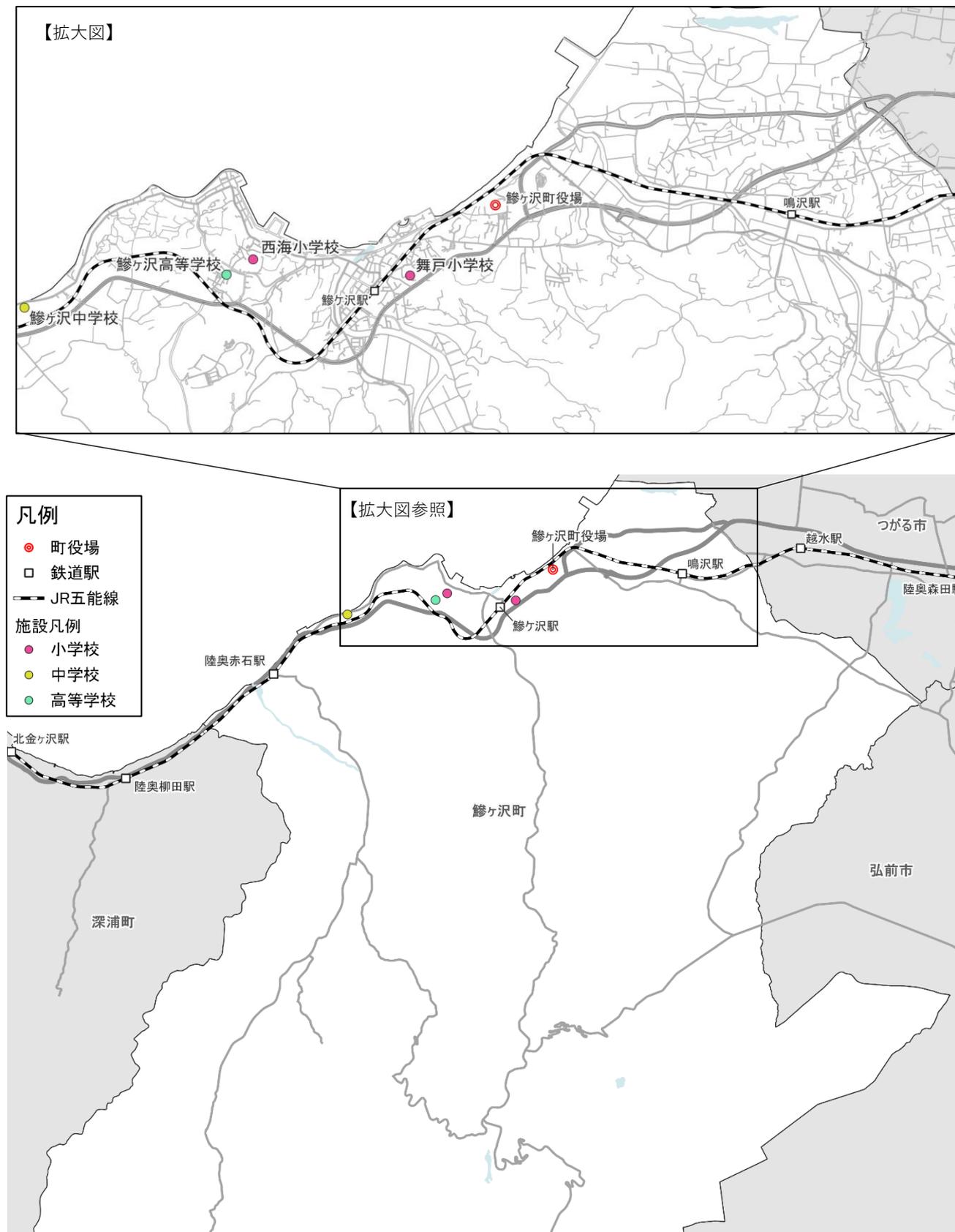


図 教育施設分布図

資料：津賀沢町 HP、各学校 HP

表 教育施設

No	種別	施設名称	住所
1	小学校	西海小学校	鱒ヶ沢町大字舞戸町字小夜190
2	小学校	舞戸小学校	鱒ヶ沢町大字舞戸町字久富27
3	中学校	鱒ヶ沢中学校	鱒ヶ沢町大字赤石町字大和田27
4	高等学校	鱒ヶ沢高等学校	鱒ヶ沢町大字舞戸町字小夜72

資料：鱒ヶ沢町 HP、各学校 HP

## 2-2-5 観光・宿泊施設

○観光・宿泊施設は町内に 12 施設立地している。



図 観光・宿泊施設分布図

資料：鯨ヶ沢町観光ポータルサイト、青森県観光情報サイト、各事業者 HP

表 観光・宿泊施設

No	施設名	住所
1	海の駅わんど	鯨ヶ沢町大字本町246-4
2	はまなす公園 (鯨ヶ沢海水浴場)	鯨ヶ沢町大字田中町114
3	新設海浜公園	鯨ヶ沢町大字舞戸町字北禿182
4	鯨ヶ沢キャンプパーク (長平青少年旅行村)	鯨ヶ沢町大字長平町字甲音羽山251-15
5	白神の森遊山道 (旧ミニ白神)	鯨ヶ沢町大字深谷町字矢倉山1-26
6	白神大然河川公園	鯨ヶ沢町大字一ツ森町字吉川及び崩ヶ沢地内
7	青森スプリング・スキーリゾート	鯨ヶ沢町大字鯨ヶ沢高原
8	青森スプリング・ゴルフクラブ	鯨ヶ沢町大字鯨ヶ沢高原
9	水軍の宿 (鯨ヶ沢温泉)	鯨ヶ沢町大字舞戸町字下富田26-1
10	ホテルグランメール山海荘 (鯨ヶ沢温泉)	鯨ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸1
11	ロックウッド ホテル&スパ (鯨ヶ沢高原温泉)	鯨ヶ沢町大字鯨ヶ沢高原
12	赤石溪流 (くろくまの滝)	鯨ヶ沢町大字一ツ森町

資料：鯨ヶ沢町観光ポータルサイト、青森県観光情報サイト、各事業者 HP

## 2-3 人口動態

### 2-3-1 人口の推移

- 鱒ヶ沢町の総人口の推移は昭和 30（1955）年の町村合併時の 23,026 人から一貫して減少傾向にあり、令和 2（2020）年には 9,044 人と減少の一途を辿っている。
- また、将来推計人口では令和 22（2040）年には総人口が 5,000 人を下回る見込みとなっている。
- 65 歳以上割合は増加傾向にあり、将来推計人口の令和 7（2025）年には 15～64 歳割合を 65 歳以上割合が上回る見込みとなっている。

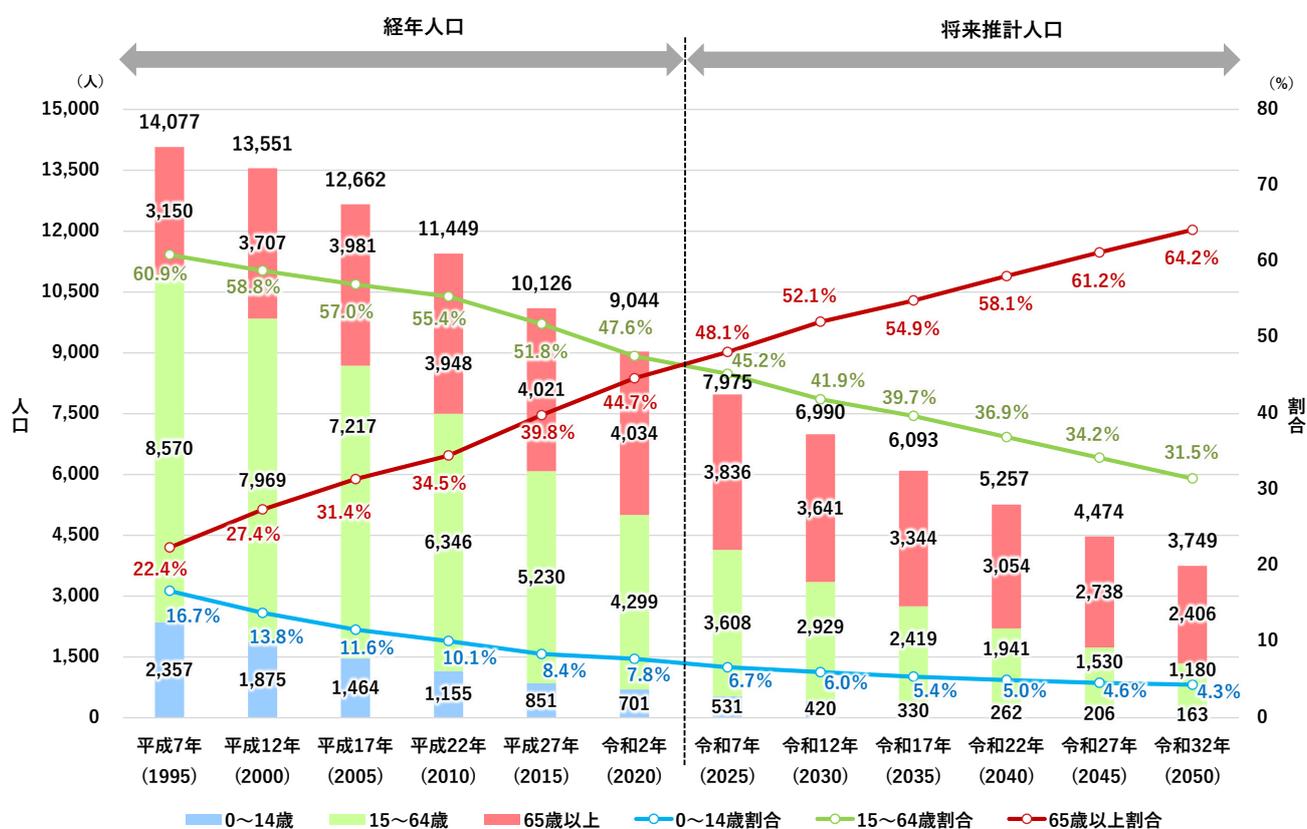


図 人口の推移

※階層別人口・割合は年齢不詳の人数を含めていないため、必ずしも総人口と合致しない

資料：経年人口/国勢調査（平成7年～令和2年）

将来人口推計/国立社会保障・人口問題研究所（令和7年～令和32年）

### 2-3-2 地区別人口

○地区別人口では、65歳以上の割合が赤石地区・中村地区・鱒ヶ沢地区で約5割になっているが、舞戸地区・鳴沢地区では約3~4割となっている。

○0~14歳の割合はほとんどの地区で1割未満となっているが、舞戸地区では約1割と他の地区より高くなっている。

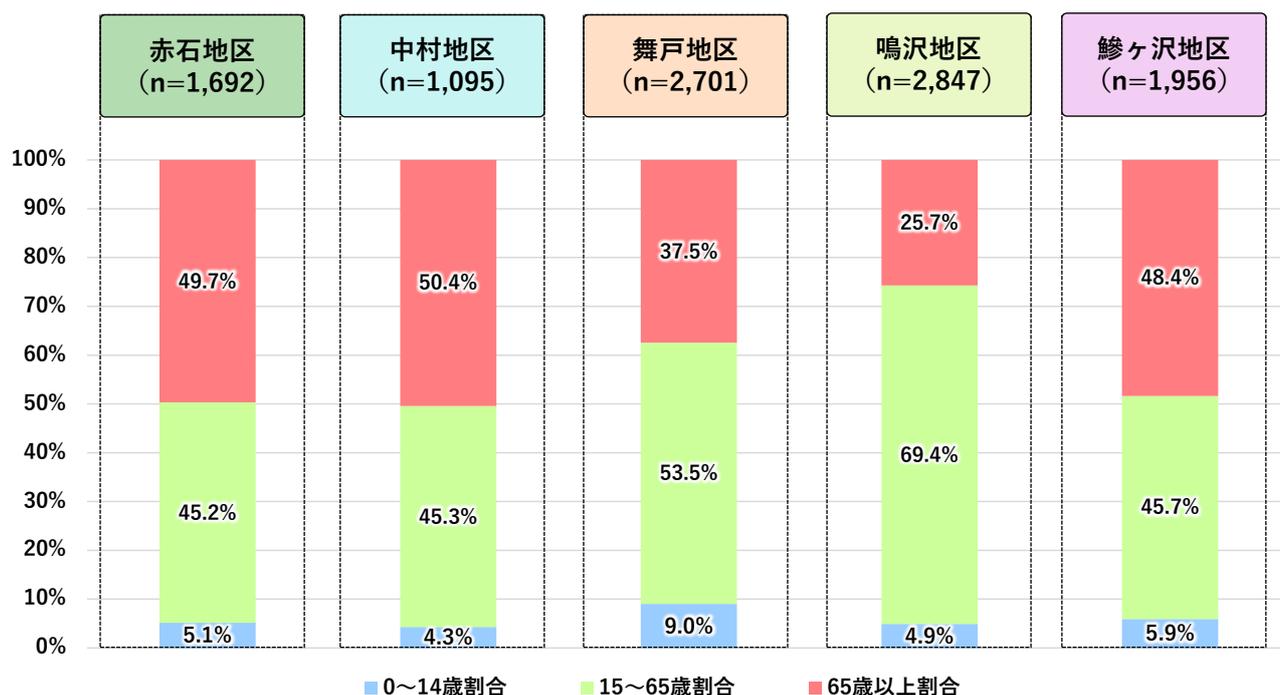


図 地区別人口

資料：鱒ヶ沢町（令和4年5月）

### 2-3-3 高齢者（65歳以上）人口分布

- 鰯ヶ沢駅周辺、鰯ヶ沢漁港周辺に65歳以上の人口が多く集積している。
- その他、スポット的に集積が多くみられる場所には介護老人施設や特別養護施設といった福祉施設が立地している。

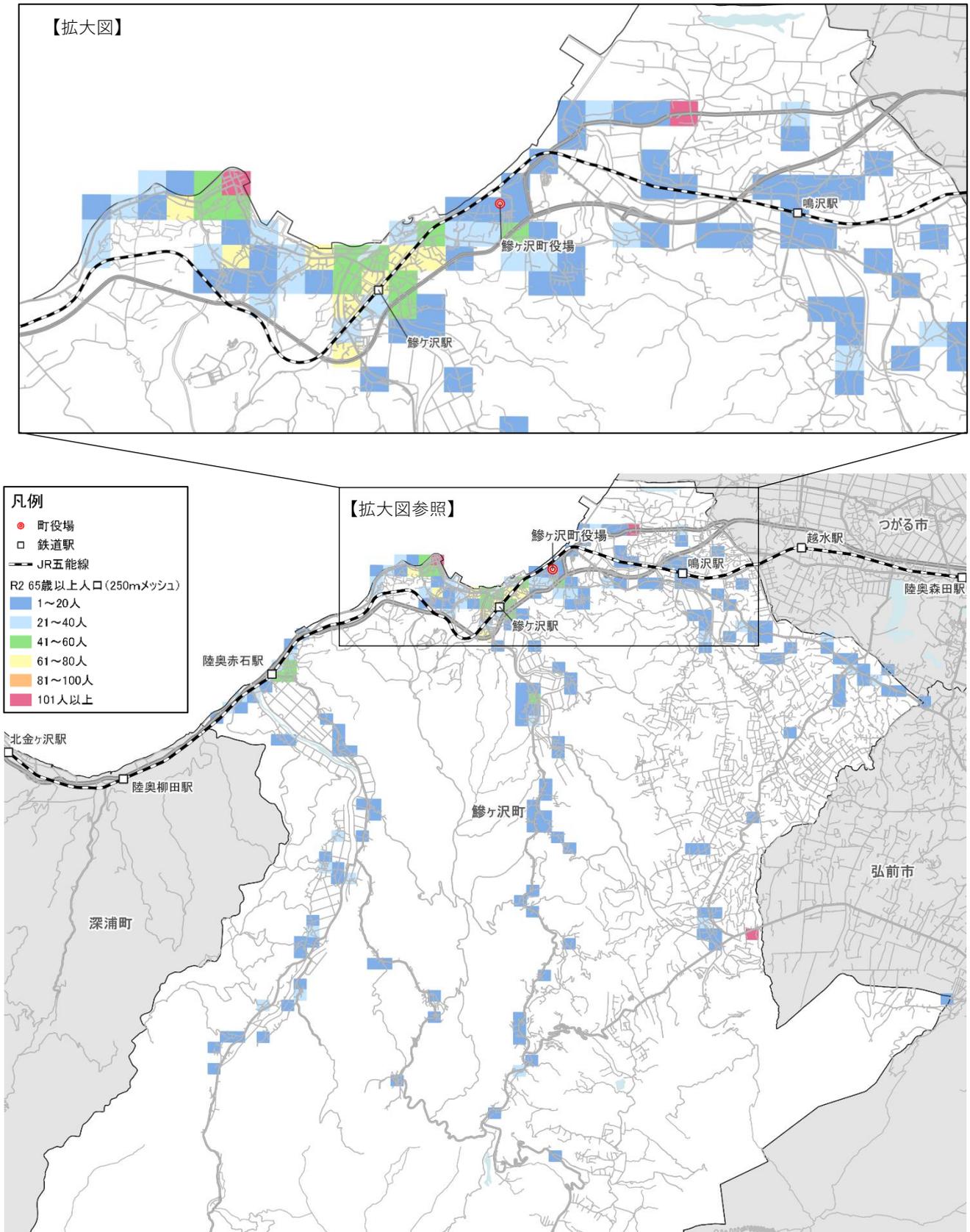


図 高齢者（65歳以上）人口分布

資料：国勢調査（令和2年）

## 2-4 自家用車保有状況

### 2-4-1 自家用車保有台数の推移

○自家用車の保有台数は年々わずかながらに減少傾向にあるが、本町の世帯数である 4,398 世帯（令和 4 年時点）と比較すると 1 世帯に 1 台は自家用車を保有している状況にある。

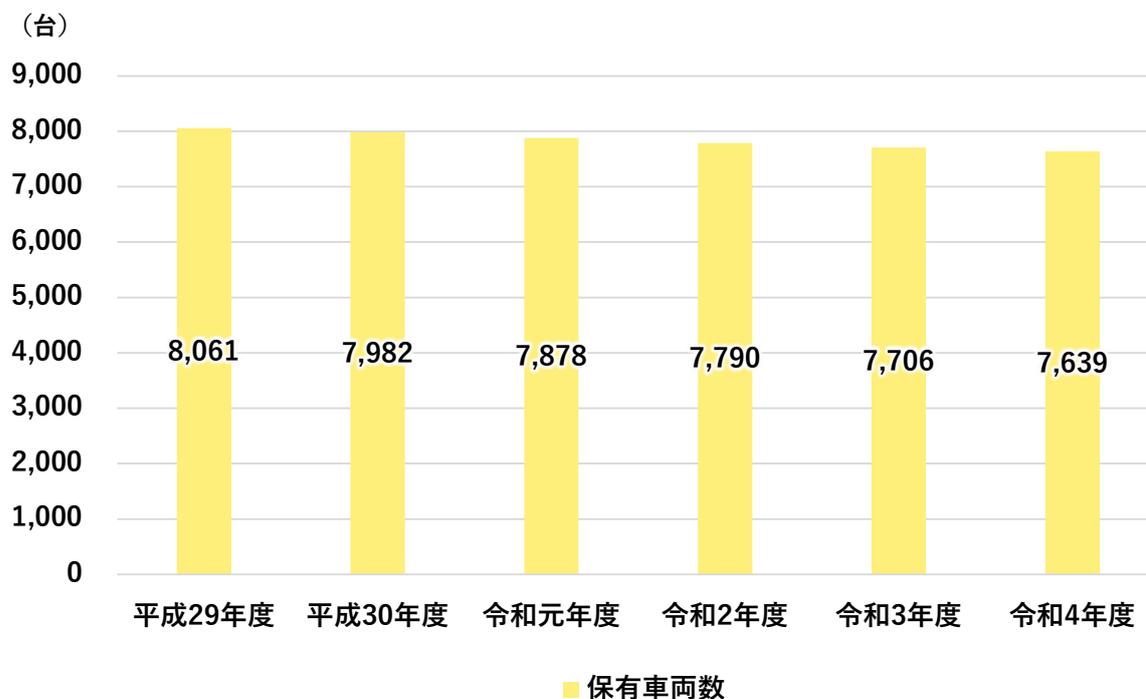


図 自家用車保有台数の推移

※軽二輪車を除く

資料：青森県運輸支局 HP

## 2-5 取り巻く社会環境の変化

- 地域交通は住民の豊かな暮らしの実現に不可欠である一方で、全国的に人口減少による需要減などに加え、コロナによる影響で一層大きく疲弊しており「地域の足」の存続が深刻に懸念される状況となっている。
- これらを解決する方策として国や県が MaaS※や自動運転など最新技術の推進を進めており、官民・交通事業者相互間・他分野で「共創」し、地域交通を持続可能な形での刷新・再設計が行われている。
- 本町においては、複数の地域を跨ぐ広域的な地域間幹線を共同で支援したり、町内路線を適正なサービス水準に見直したりするなど、交通事業者と連携し取り組んできた。
- さらには、弘南バスから地域連携 IC カード「MegoICa (メゴイカ)」がリリースされ、利用者の支払いにおける利便性が向上している。
- しかしながら、人口減少・少子高齢化の下で利用者減少や交通事業者の運転手不足などは深刻な問題であることから、デジタル技術を活用したまちづくりの DX と上手に連携することが本町でも求められている。



図 MaaS の考え方

※MaaS・・・Mobility as a Service の略称。一人一人の移動ニーズに対応して複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済などを一括で行うサービス

# 3. 公共交通の現状など

## 3-1 公共交通の運行状況など

○現状の公共交通ネットワークは以下のとおり。

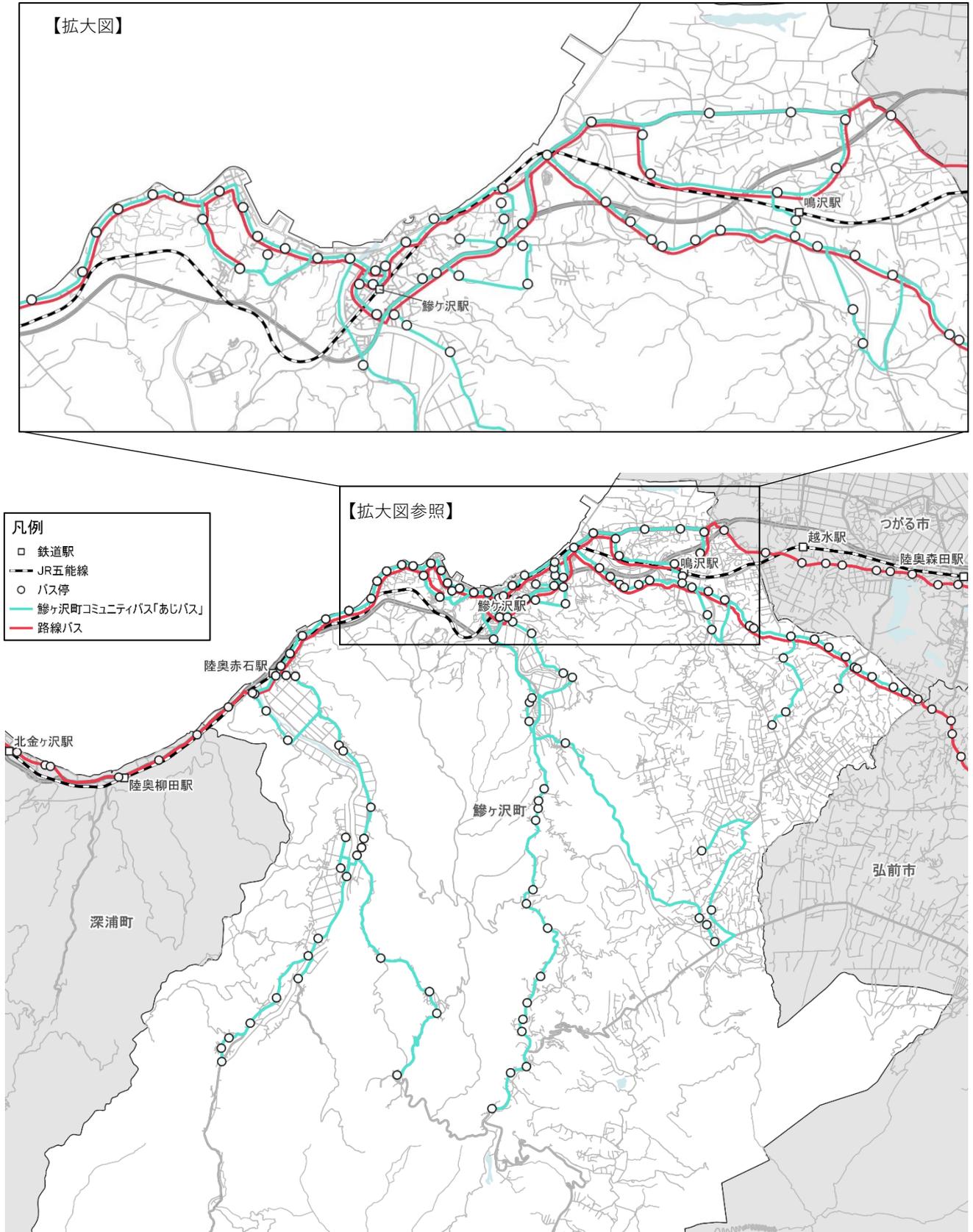


図 運行路線図

## 3-2 公共交通ネットワークの現状など

### 3-2-1 町内を運行する公共交通の概要

- 鱒ヶ沢町内を運行する公共交通は以下のとおり。
- 次ページ以降に各路線の個別概要を示す。

表 町内を運行する公共交通

サービス名	概要
JR 五能線	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東能代駅から川部駅までを結ぶ広域鉄道路線</li> <li>○町内には「鱒ヶ沢駅」、「鳴沢駅」、「陸奥赤石駅」が立地</li> </ul>
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町内とつがる市、弘前市、深浦町、五所川原市を往復運行</li> <li>○町内には3路線が運行</li> <li>○令和5(2023)年2月から「MegolCa」が全路線で導入され、交通系ICカードでの支払いに対応</li> </ul>
鱒ヶ沢町コミュニティバス「あじバス」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町内全域を14路線が運行</li> <li>○料金は一乗車につき100円</li> </ul>

### 3-2-2 JR 五能線

○JR 五能線の運行概要は以下のとおり。

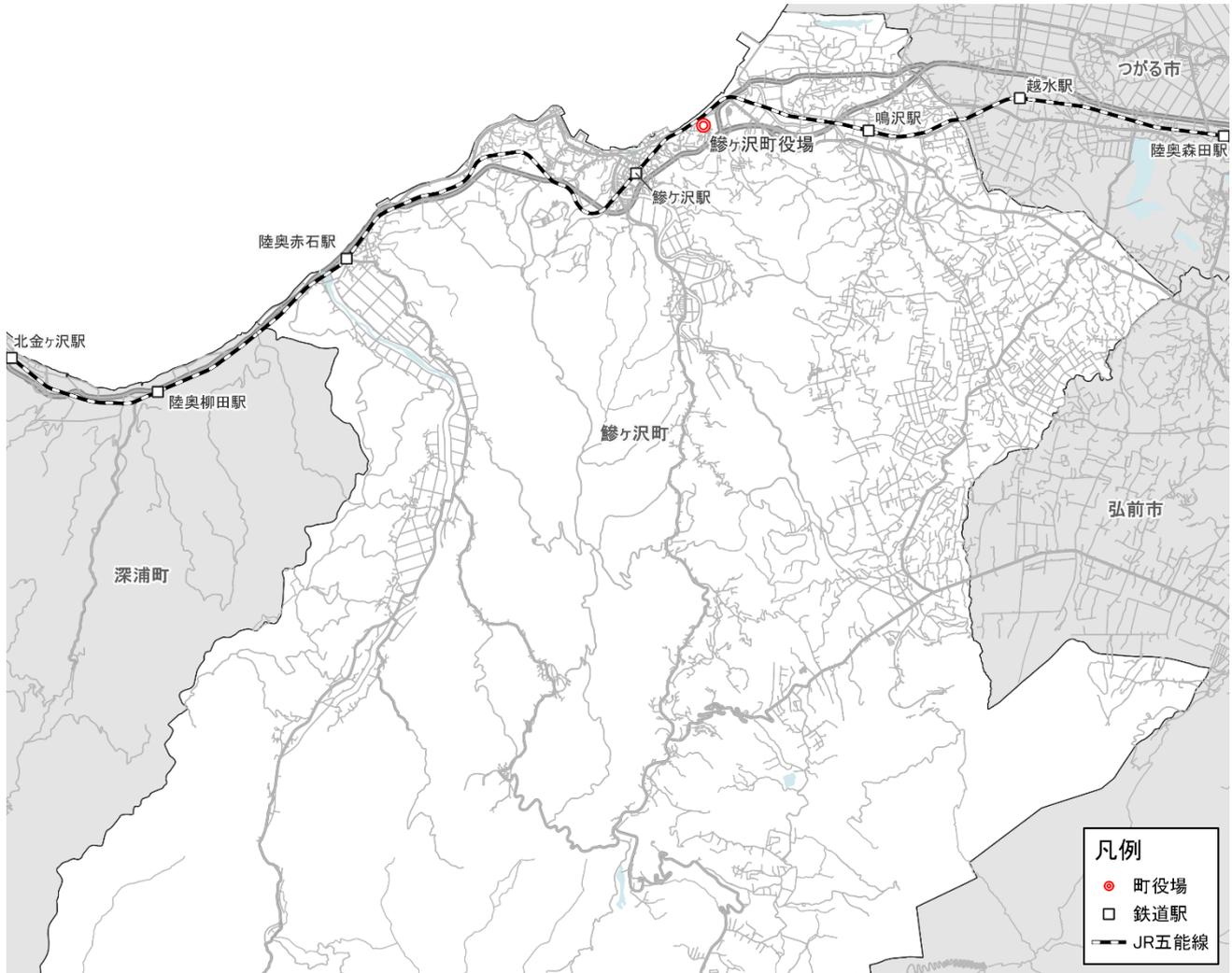


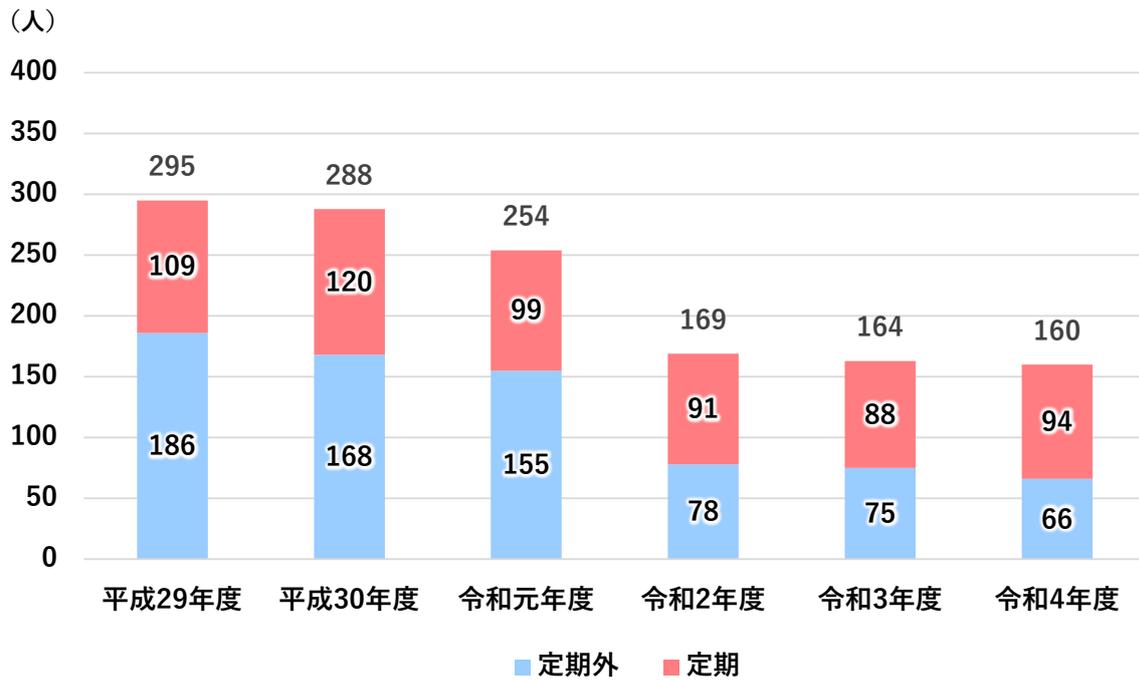
図 運行路線

表 運行概要

路線名	起点	終点	沿線市町村	運行本数				関連する公共交通
				平日		休日		
				上	下	上	下	
JR 五能線	東能代駅	川部駅	能代市 八峰町 深浦町 鱒ヶ沢町 つがる市 五所川原市 鶴田町 板柳町 藤崎町 田舎館村	6	9	6	9	路線バス あじバス

※運行本数はリゾートしらかみを除く

### 3.公共交通の現状など



※数値は平均のため、定期外・定期の合算値と合計値は必ずしも合致しない

図 鱒ヶ沢駅の1日あたりの平均乗車人員の推移

資料：JR東日本 HP

### 3-2-3 路線バス

○路線バスの運行概要は以下のとおり。

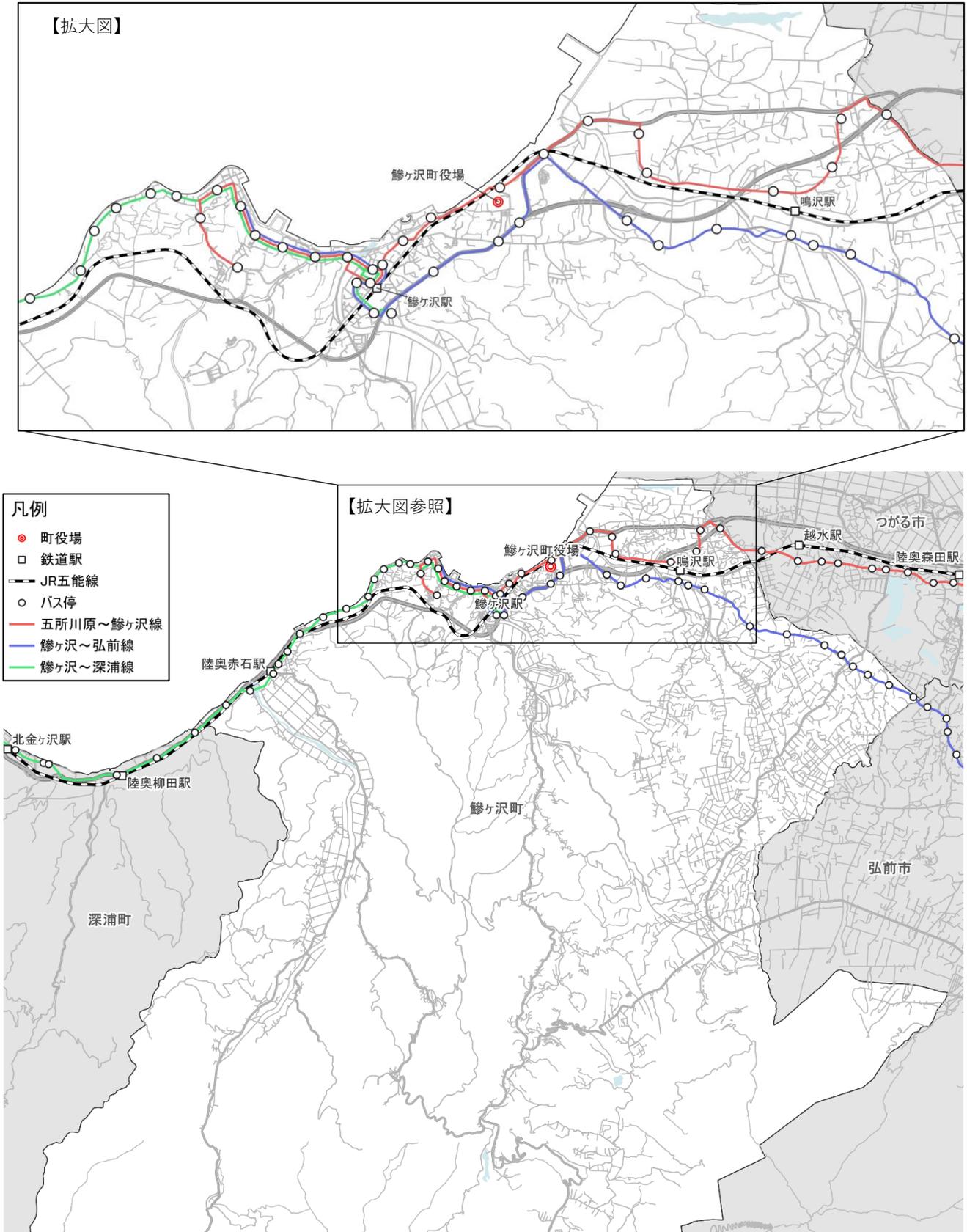


図 運行路線図

表 運行概要

路線名	起点	終点	沿線市町村	運行本数				関連する公共交通
				平日		休日		
				上	下	上	下	
五所川原～ 鱒ヶ沢線	五所川原 営業所	小夜	鱒ヶ沢町 五所川原市 つがる市	10	10	6	6	あじバス JR 五能線
鱒ヶ沢～弘前線	鱒ヶ沢駅前	弘前駅前	鱒ヶ沢町 弘前市	2	0	3	0	
	鱒ヶ沢本町	聖愛高校前	鱒ヶ沢町 弘前市	1	0	0	0	
	天長園前	弘前駅前	鱒ヶ沢町 弘前市	2	0	1	0	
	弘南バス ターミナル	天長園前	鱒ヶ沢町 弘前市	0	2	0	1	あじバス JR 五能線
	弘南バス ターミナル	鱒ヶ沢駅前	鱒ヶ沢町 弘前市	0	3	0	3	あじバス JR 五能線
鱒ヶ沢～深浦線	鱒ヶ沢 営業所	弁天	鱒ヶ沢町 深浦町	4	4	4	4	

※鱒ヶ沢～弘前線（鱒ヶ沢本町～聖愛高校経由）は、土日祝は『起点：鱒ヶ沢駅前～終点：弘前駅前』で運行

### 3.公共交通の現状など

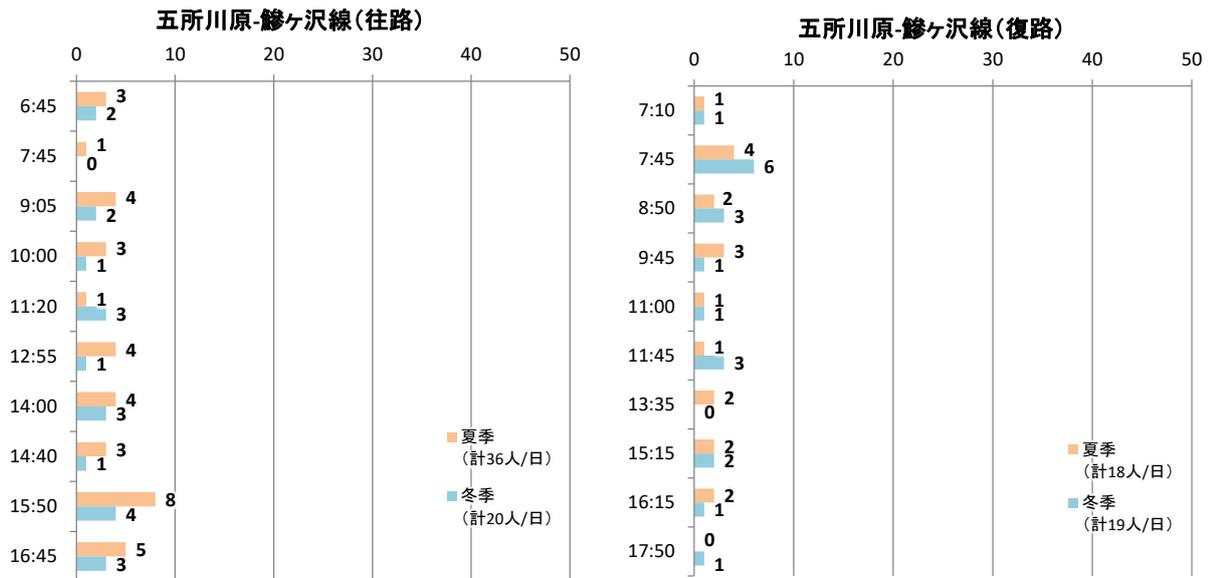


図 便別利用者数(五所川原～鰺ヶ沢線)

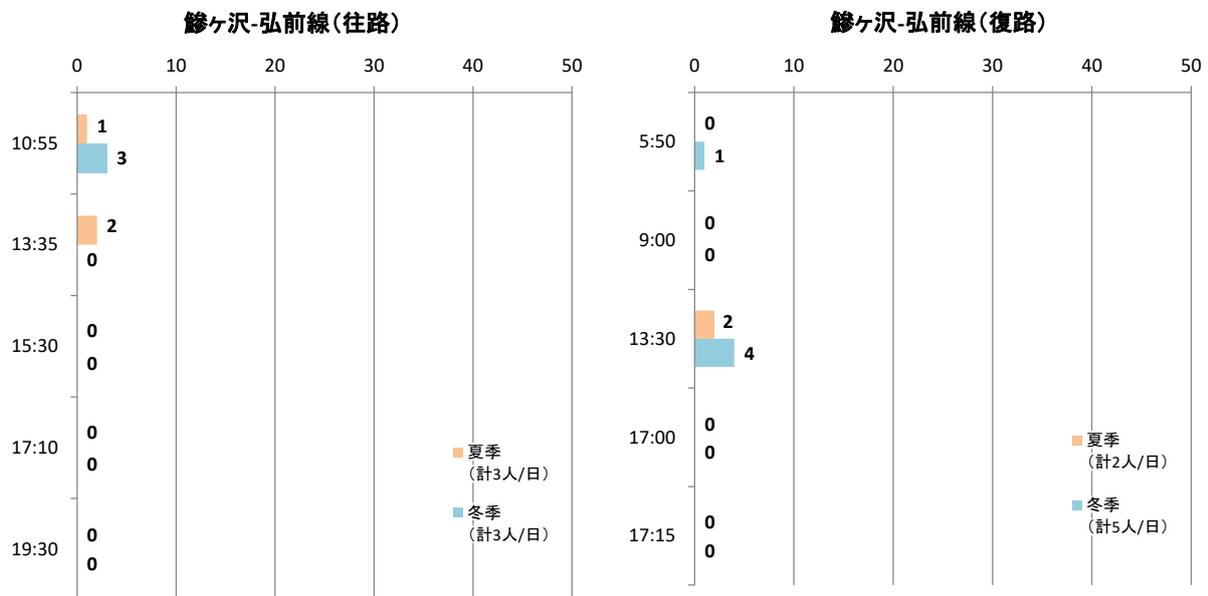


図 便別利用者数(鰺ヶ沢～弘前線)

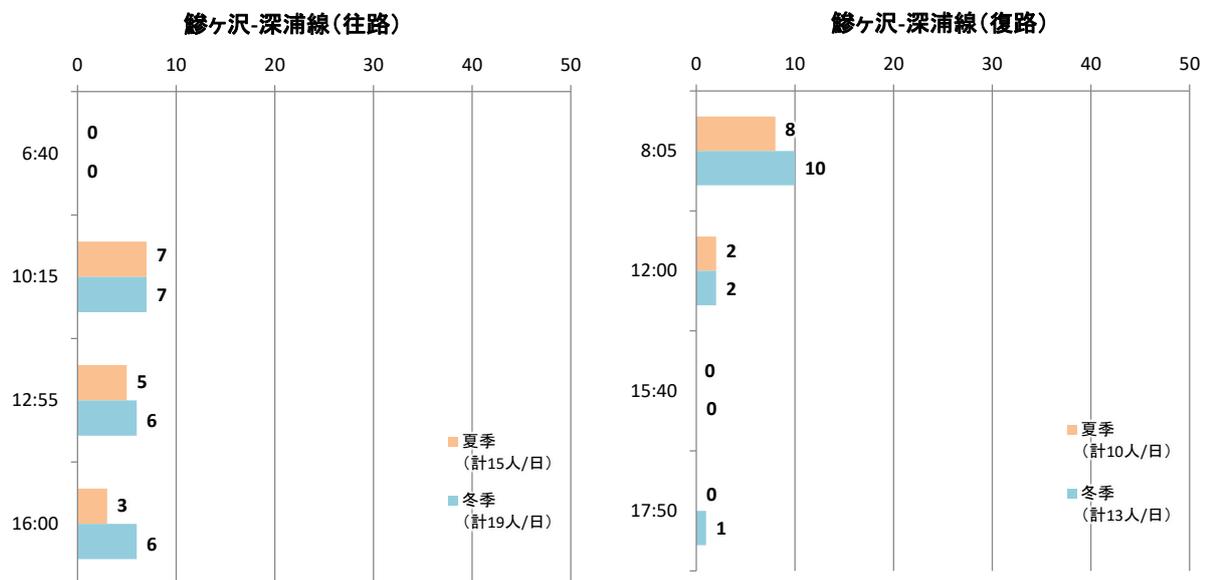


図 便別利用者数(鰺ヶ沢～深浦線)

資料：利用実態調査（令和4年度）

### 3-2-4 鯉ヶ沢町コミュニティバス「あじバス」

○鯉ヶ沢町コミュニティバス「あじバス」の運行概要は以下のとおり。

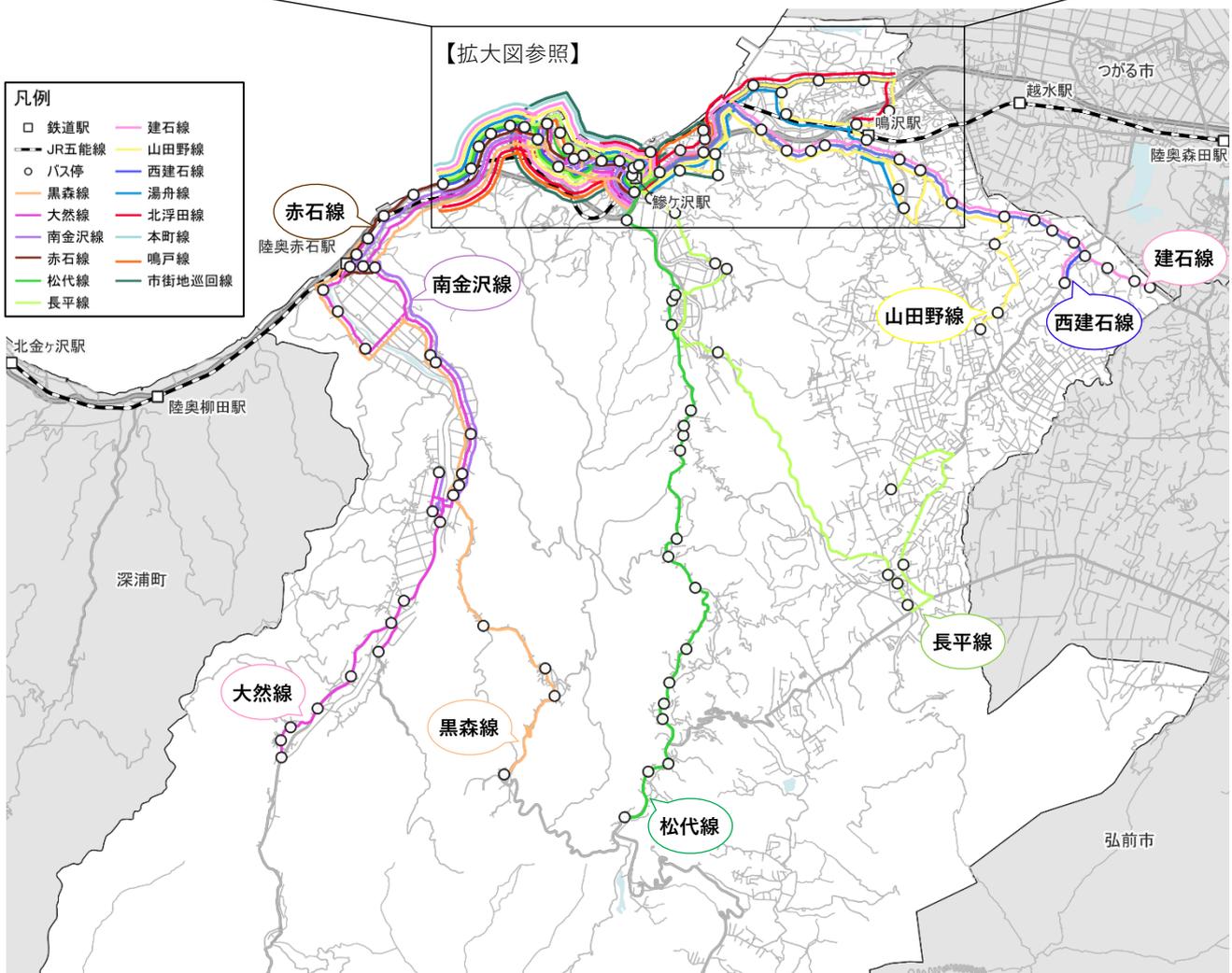
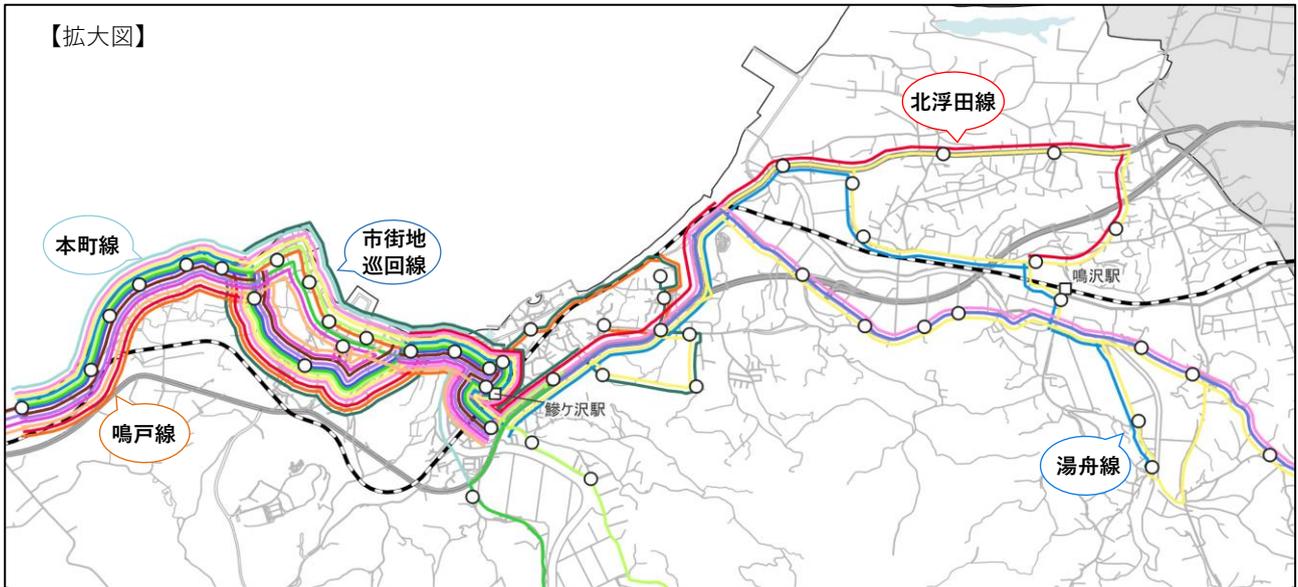


図 運行路線図

表 運行概要

地区名	路線名	起点	終点	運行本数				関連する公共交通
				平日		休日		
				上	下	上	下	
赤石地区	①黒森線	黒森	鱒ヶ沢病院	2	5	2	2	路線バス JR 五能線
	②大然線	大然		3	5	2	2	
	③南金沢線	目内崎		1	0	0	0	
	④赤石線	中央赤石		1	0	0	0	
中村地区	⑤松代線	松代	鱒ヶ沢中学校 鱒ヶ沢駅前	3	6	2	2	
	⑥長平線	和開開拓		3	6	2	2	
鳴沢地区	⑦建石線	餅ノ沢	鱒ヶ沢中学校 鱒ヶ沢駅前	2	6	2	2	
	⑧山田野線	山田野南口		2	6	2	2	
	⑨西建石線	西建石	鱒ヶ沢中学校	1	0	0	0	
	⑩湯舟線	湯舟		1	0	1	0	
	⑪北浮田線	保木原十文字		1	0	0	0	
本町線・ 鳴戸線	⑫本町線	三ツ沢	鱒ヶ沢中学校	1	0	1	0	
	⑬鳴戸線	上野団地入口 鳴戸団地公園前		1	2	2	2	
市街地巡回線		鱒ヶ沢駅前	鱒ヶ沢駅前	4	4	4	4	

### 3.公共交通の現状など

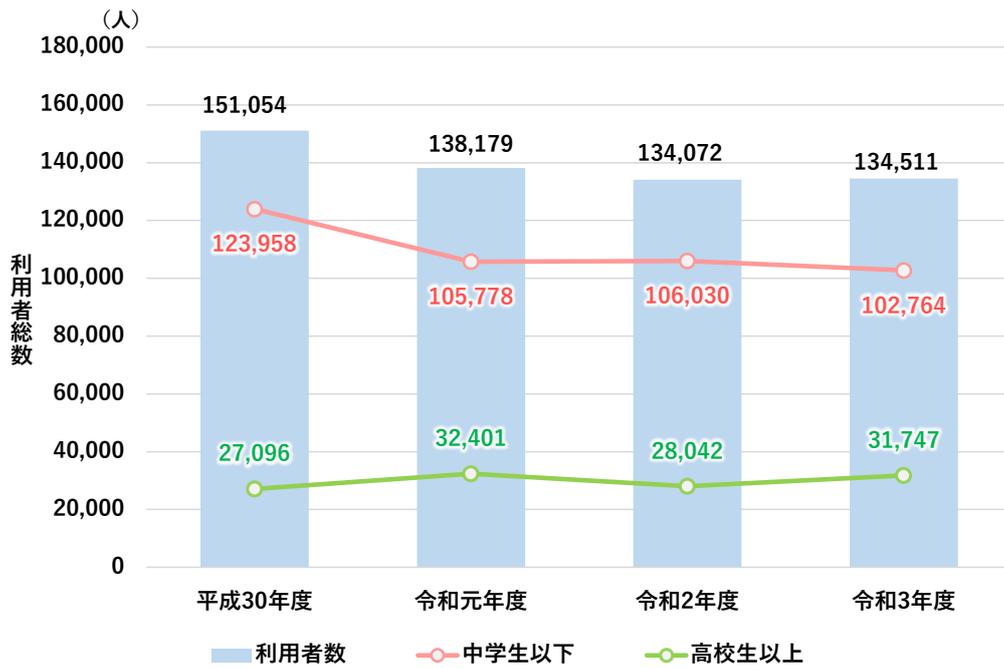


図 利用者数の推移

資料：鯉ヶ沢町

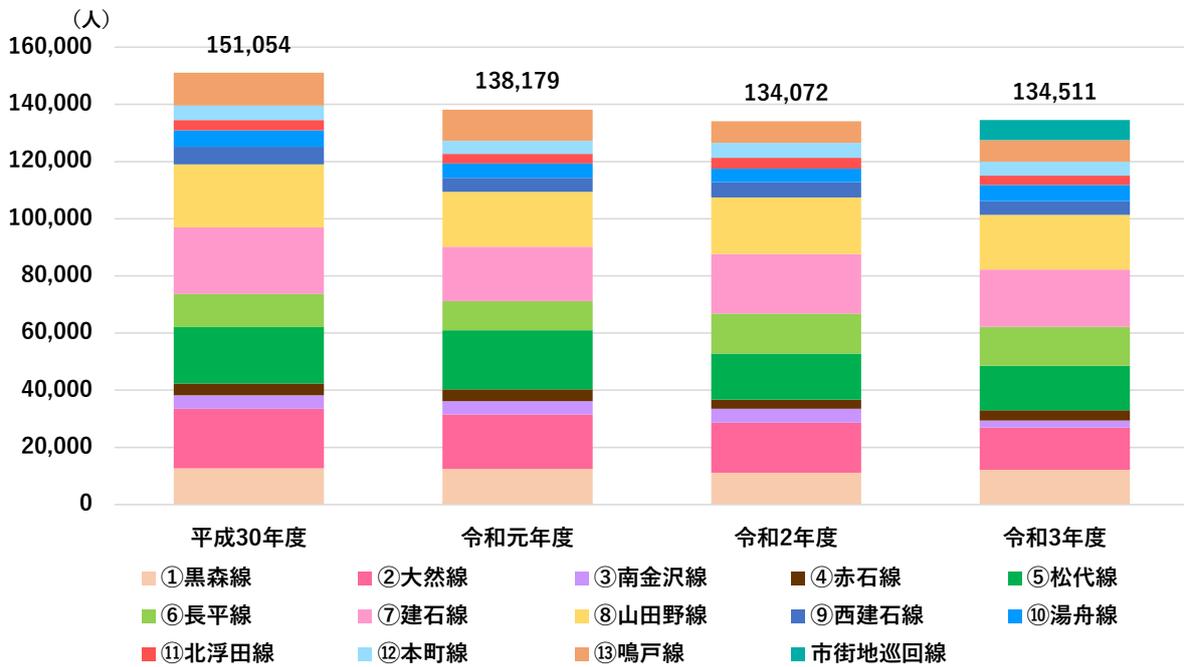


図 路線別利用者数の推移

資料：鯉ヶ沢町

## 3-2-5 一般タクシー

○町内で営業するタクシー事業者は以下のとおり。

表 サービス概要

事業者名	住所	保有車両
(有)鱒ヶ沢観光タクシー	鱒ヶ沢町大字本町 129-3	・一般タクシー
西海観光(株)	鱒ヶ沢町大字舞戸町字下富田 35-12	・一般タクシー ・ジャンボタクシー

資料：青森県タクシー協会 HP

## 3-2-6 その他の交通サービス

○町内を運行するその他交通サービスは以下のとおり。

表 サービス概要

事業者名	事業名	概要
鱒ヶ沢町	福祉バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内に組織を持つ福祉関係団体などからの利用申込によって運行</li> <li>・使用料は無料だが、町外へ運行する場合は燃油代や駐車場代などの実費は利用者が負担する</li> </ul>
社会福祉法人 鱒ヶ沢町 社会福祉協議会	介護タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護者・要支援者・身体障害者手帳取得者などを対象とした、鱒ヶ沢町全域・その他地域（要相談）を走る有償サービス（事前電話予約が必要）</li> <li>・買い物などに利用する「ケア輸送」を実施</li> </ul>
社会福祉法人 つくし会	介護タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護者・要支援者・身体障害者手帳取得者などを対象とした、鱒ヶ沢町全域・その他地域（要相談）を走る有償サービス（事前電話予約が必要）</li> <li>・病院への通院のみを目的とした「介護輸送」、他の目的に利用する「ケア輸送」の2種類がある</li> </ul>
医療法人敬生会 越前医院	送迎サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅（または自宅近く）から越前医院までを送迎するサービス</li> <li>・町内5地区（建石・長平・種里・一ッ森・深谷）を曜日別に運行</li> <li>・運賃は無料</li> <li>・事前予約は不要（初めての方でも乗車可能）</li> </ul>
医療法人泉衆会 七ツ石内科	送迎サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅から七ツ石内科までを送迎するサービス</li> <li>・受診される方のみ対象</li> <li>・運賃は無料（事前電話予約が必要）</li> </ul>
鱒ヶ沢温泉 水軍の宿	宿泊者限定 送迎サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR五能線の発着に合わせ鱒ヶ沢駅～水軍の宿までを無料で運行する送迎バス（事前電話予約が必要）</li> </ul>
ホテルグランメール 山海荘		<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR五能線の発着に合わせ、鱒ヶ沢駅～ホテルグランメール山海荘までを無料で運行する送迎バス（事前電話予約が必要）</li> </ul>
西海観光株式会社	鱒ヶ沢観光 タクシープラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR 鱒ヶ沢駅を発着点とする、予約制の定額タクシープラン</li> <li>・プランは6コースあり、町内の観光施設を周遊する</li> </ul>

### 3-2-7 町内の公共交通空白地域

- 国道や県道など主要な沿線においてはカバーできているが、一部空白地域がみられる。
- 公共交通のカバー率は87.6%となっている。

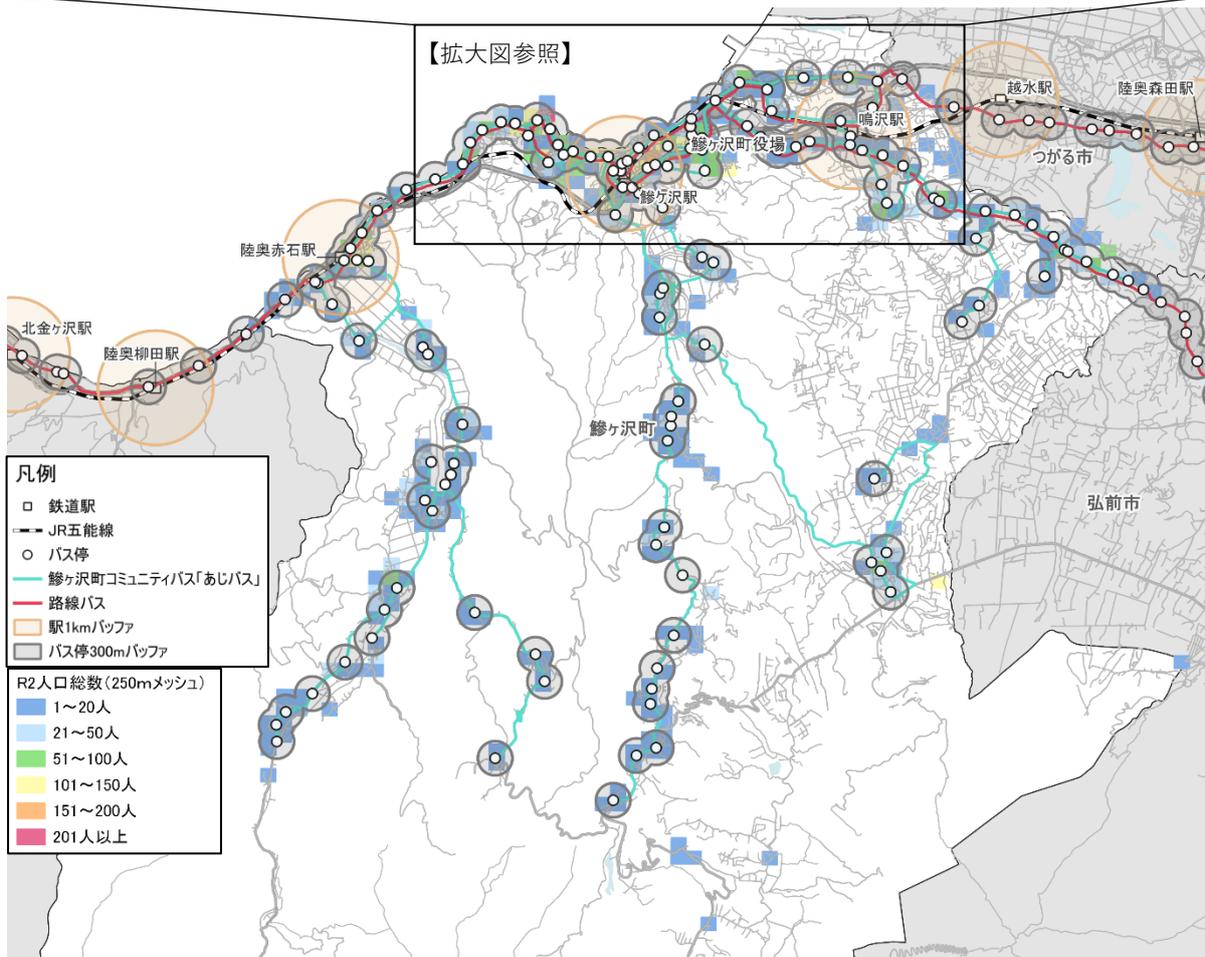
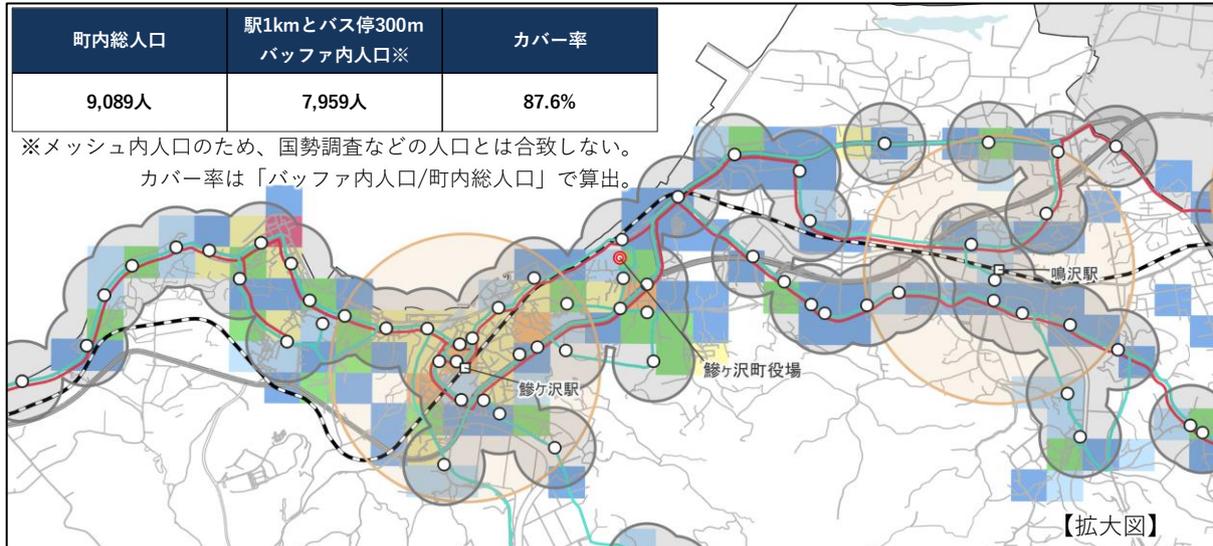


図 公共交通空白地域

## 4. 公共交通の課題

### 4-1 網形成計画の振り返り

#### 4-1-1 網形成計画の基本理念と基本方針

○本計画と同様に鱒ヶ沢町における「将来のまちづくりの方向性」や公共交通を取り巻く現状・課題などを踏まえ、網形成計画の基本理念と基本方針を以下のとおり設定している。



## 4-1-2 網形成計画の施策と実施状況

○網形成計画においては、課題や公共交通の問題点・課題なども踏まえて、公共交通のあり方（目指す将来像）及び公共交通の基本方針に基づき以下のとおり目標を定めている。

表 網形成計画の施策と実施状況

	大項目	中項目	内容
事業1	「地域内ネットワーク構築」事業（コミュニティバス運行事業）	①赤石地区	・町内路線について運行効率化、小中学生、一般利用者、高齢者の利便性の確保を念頭に、路線バスとスクールバスを統合した新たなコミュニティバスを運行（町内各地から鉄道に接続する早朝の便については、小型車両などを用いた小型輸送対策を検討）
		②中村地区	
		③鱒ヶ沢地区	
		④鳴沢地区	
		⑤舞戸地区	
事業2	「買い物支援」事業	—	・山間部の買い物が不便な高齢者を対象に、買い物バスなどの移動手段を確保し運行
事業3	「分かりやすさ向上」事業	①総合時刻表およびマップの作成	・鱒ヶ沢町を運行する公共交通の情報（路線、乗り場、運行時刻、交通間の接続）などが示される総合時刻表やマップを作成
		②駅など結節点の情報案内、車両表示などの改善	・駅など結節点において、鉄道とバス、バス同士の乗継案内、方面別のバス案内といった情報案内や、分かりやすい車両表示（ラッピング等）などを実施
事業4	「地域との協働による利用促進」事業	①モビリティ・マネジメント	・バスや鉄道などの公共交通の利用を促進するためのモビリティ・マネジメントを実施
		②地域との公共交通意見交換の実施、継続	・路線バスとスクールバスの統合によるコミュニティバス、買い物支援事業で実施する移動手段などの適切な導入、維持に向け、地域での公共交通に関する意見交換を実施

## 4-1-3 網形成計画の目標指標の達成状況

○網形成計画に示される目標値の達成状況は下表のとおり。

表 目標指標の達成状況

指標	目標指標	策定時	目標値	現況値	達成状況
指標①	公共交通の本数が増加する路線数	0 路線	4 路線	14 路線	◎
指標②	公共交通によるカバー率	65%	70%	87.6%	◎
指標③	公共交通の利用者数の増加	約 150 人/日	約 200 人/日	444.4 人/日	◎
指標④	公共交通の満足度の向上	15% (満足・やや満足)	30% (満足・やや満足)	35.2%	◎
指標⑤	町民との協働の取組実施数の拡大	1 地区	複数地区	0 地区	未達成

## 4-1-4 現状の公共交通の満足度と重要度

○本計画策定時点での本町の公共交通に対する満足度と重要度は以下のとおり。

○運行内容だけでなく『時刻表のわかりやすさ』や『バス停の記載内容のわかりやすさ』『車両の乗り降りのしやすさ』など利用に関する事項の満足度が低く重要度が高い結果となっている。

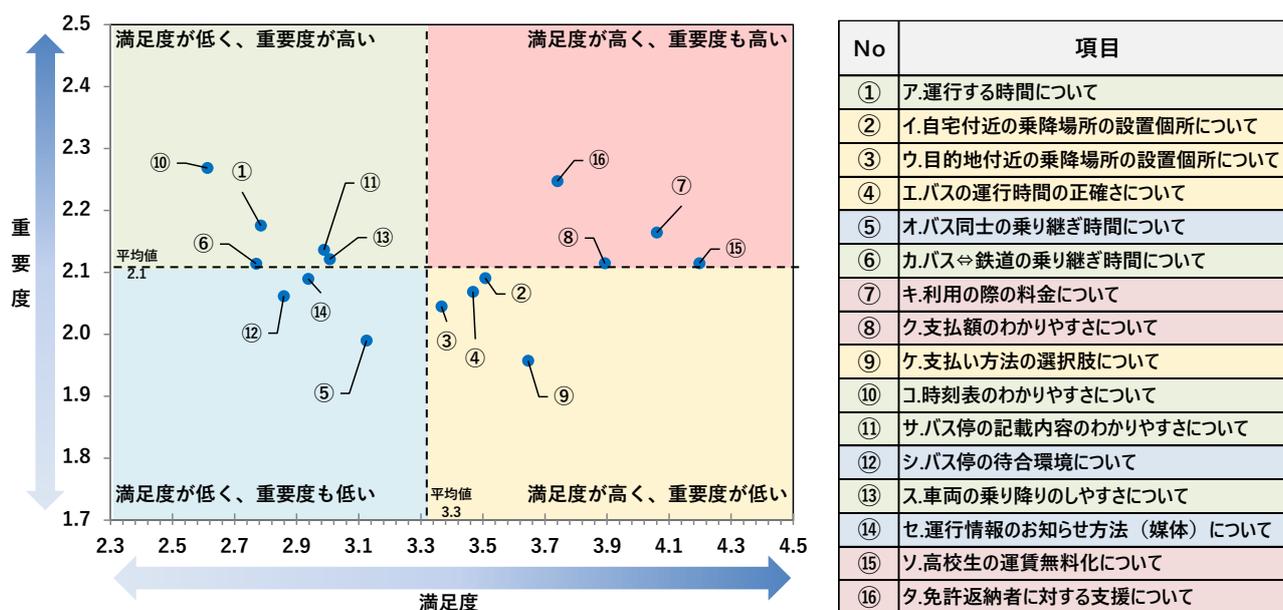


図 公共交通の満足度と重要度（令和4年度 町民アンケートより）

## 4-2 公共交通の課題

### 課題1 地域の実態に合わせた公共交通の確保・改善が必要

○中心部や郊外部で町民の移動実態は様々であるため、多くのあじバスの運行により対応してきたが、少子高齢化などによる地域の状況の変化や施設・団体による配送・移動サービス等の導入など、地域の実態に合わせた車両や運行内容の見直しが必要となる。

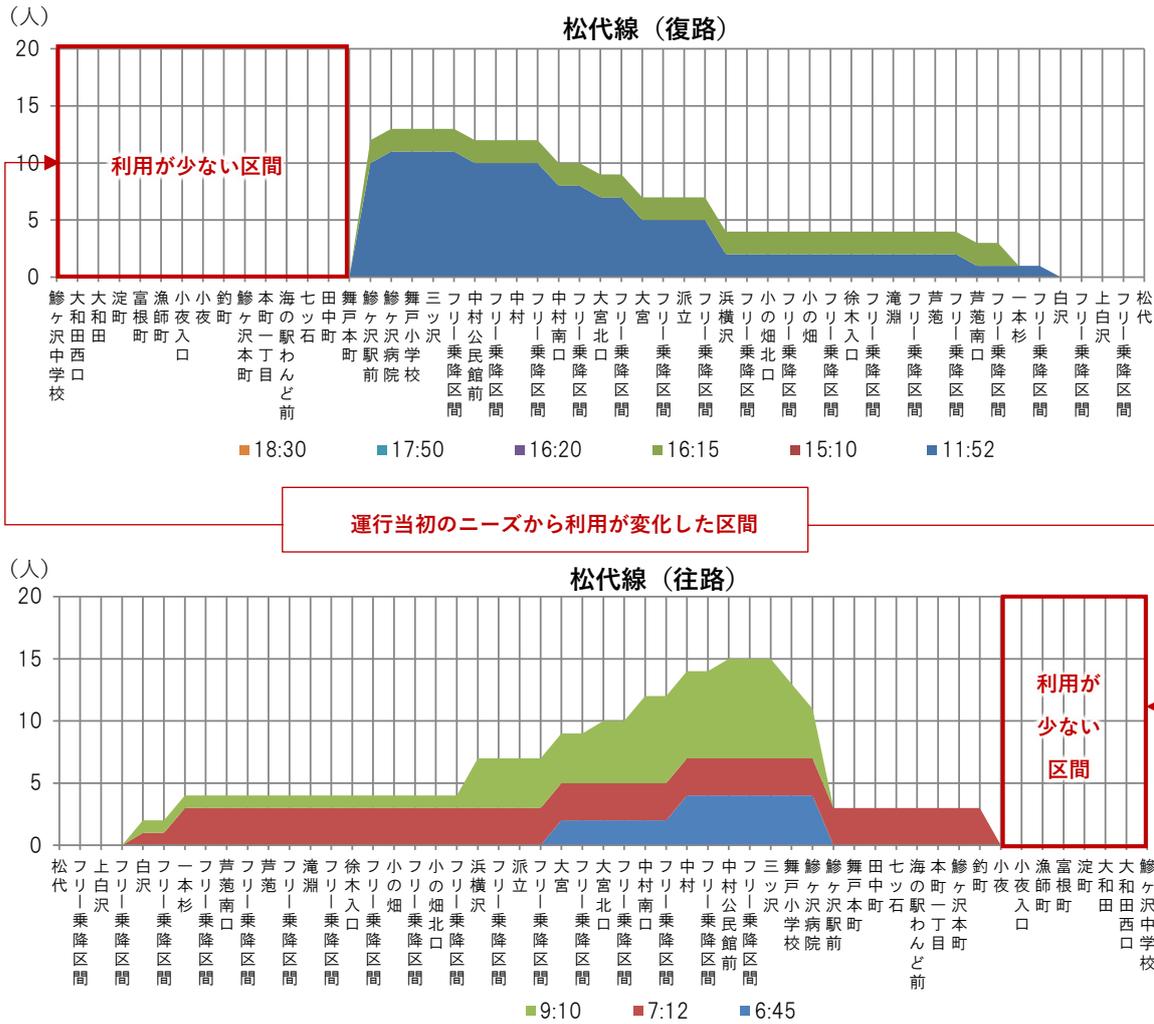
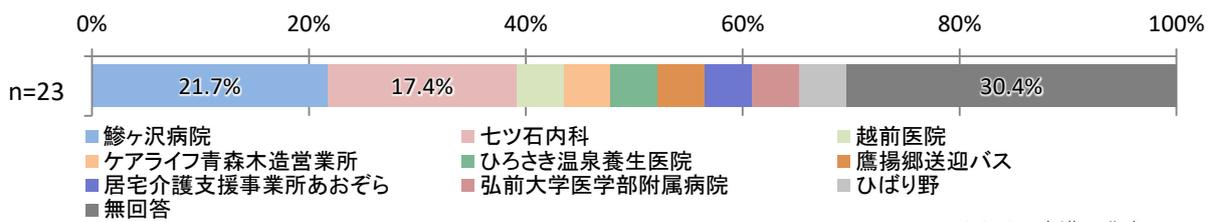


図 路線端部での利用が減少した路線例（令和4年度 利用実態調査結果より）



※5.0%未満は非表示

図 通院支援を受けている施設（令和4年度 町民アンケートより）

課題2 広域路線を維持していくための取組が必要

○町内には、あじバス以外にも広域的な移動を支える路線バス・鉄道が運行しており、町外の買い物・医療・教育施設などへの移動手段として重要な役割を果たしており、今後も広域路線の維持に向けた取組が必要となる。

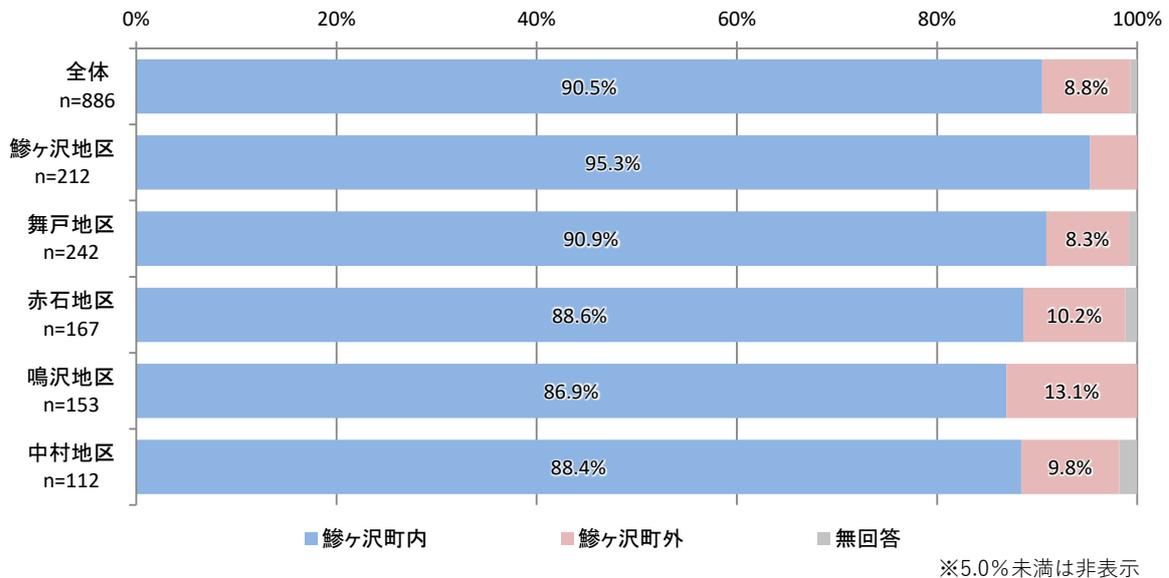


図 最も利用する買い物先の地域 (令和4年度 町民アンケートより)

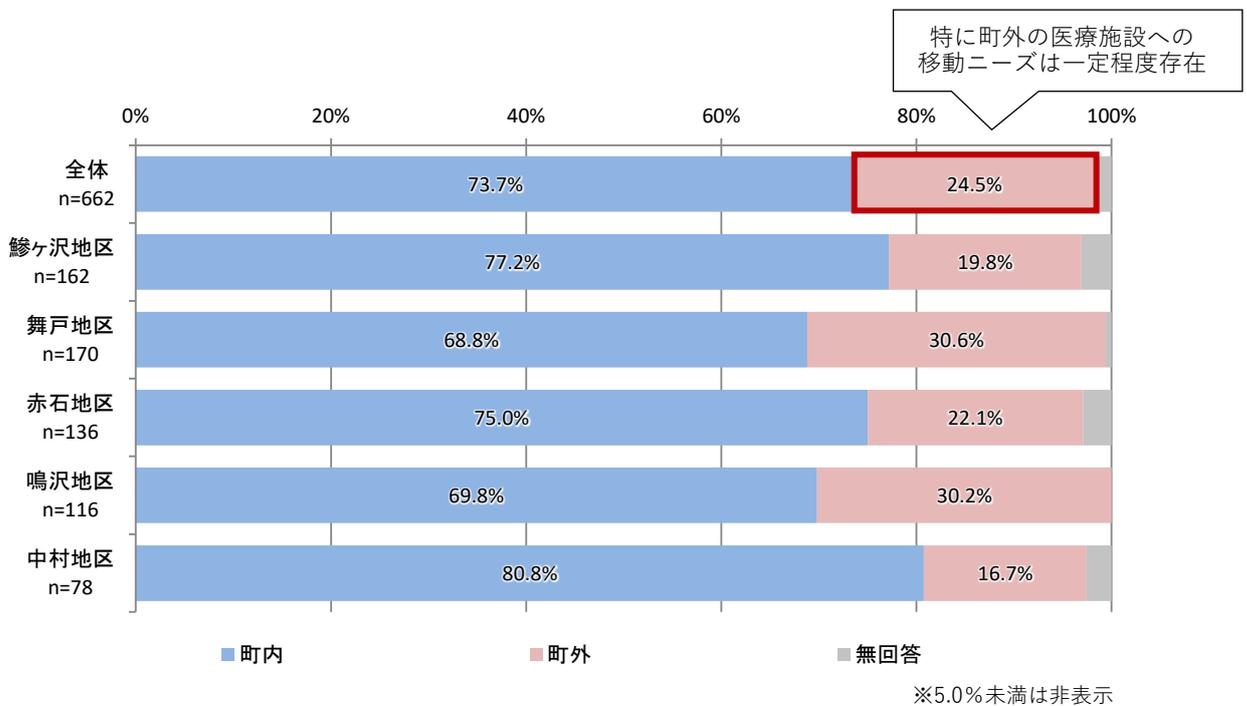


図 最も利用する通院先の地域 (令和4年度 町民アンケートより)

課題3 交通拠点の機能強化が必要

○利便性の高い公共交通を構築するためには、町内路線同士だけではなく広域路線とも連携が重要であることから、乗継などが行われる施設を交通拠点として位置づけ、利用者にとって町内を運行する公共交通が使いやすくなるような機能強化が必要となる。

行き（午前の便を想定）

鯉ヶ沢駅着

鯉ヶ沢駅発

黒森線	大然線	南金沢線	赤石線	松代線	長平線	建石線	山田野線	西建石線	湯舟線	北浮田線	鳴戸線	JR五能線
-	7:18(12分)	-	-	7:15(15分)	7:17(13分)	-	-	-	-	-	-	7:30
7:44(69分)	7:44(69分)	7:43(70分)	7:43(70分)	7:42(71分)	7:42(71分)	7:41(72分)	7:41(72分)	7:40(73分)	7:40(73分)	7:39(74分)	7:45(68分)	8:53
9:43(48分)	9:47(44分)	-	-	9:40(51分)	9:47(44分)	9:32(59分)	9:53(38分)	-	-	-	-	10:31

乗継時間が長大になっている

帰り（午後の便を想定）

鯉ヶ沢駅着

鯉ヶ沢駅発

JR五能線	黒森線	大然線	松代線	長平線	建石線	山田野線	鳴戸線
17:45	18:18(33分)	18:18(33分)	17:59(14分)	17:59(14分)	17:56(11分)	17:56(11分)	18:37(52分)
18:42	-	-	18:39(-3分)	18:39(-3分)	18:37(-5分)	18:37(-5分)	18:37(-5分)

鉄道到着よりもあじバスが早く出発するため乗り継げない

※（ ）内は乗継時間を示す  
※赤字は乗継時間が10～30分の便を示す

図 あじバスとJR五能線の接続状況(一部)

鉄道との接続に関する周知は未対応



②大然線 / ③南金沢線 / ④赤石線 (令和3年4月1日時刻改正)

鯉ヶ沢町コミュニティバス 赤石地区

日付	黒森線	大然線	南金沢線	赤石線	山田野線	湯舟線	北浮田線	鳴戸線
鯉ヶ沢病院	11:52	11:48	15:04	15:04	16:06	16:06	17:36	17:36
鯉ヶ沢駅前	11:54	11:50	15:06	15:06	16:08	16:08	17:38	17:38
鯉ヶ沢中	11:55	11:51	15:07	15:07	16:09	16:09	17:39	17:39
七ツ石	11:56	11:52	15:08	15:08	16:10	16:10	17:40	17:40
海野の野わんどう	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
本町二丁	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
鯉ヶ沢中	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
鯉ヶ沢	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
西海小学校	11:58	11:54	15:10	15:10	16:12	16:12	17:42	17:42
小坂	11:59	11:55	15:11	15:11	16:13	16:13	17:43	17:43
小坂入口	12:00	11:56	15:12	15:12	16:14	16:14	17:44	17:44
湯舟	12:01	11:57	15:13	15:13	16:15	16:15	17:45	17:45
湯舟中	12:01	11:57	15:13	15:13	16:15	16:15	17:45	17:45
湯舟	12:02	11:58	15:14	15:14	16:16	16:16	17:46	17:46
大田	12:02	11:58	15:14	15:14	16:16	16:16	17:46	17:46
大田北口	12:03	11:59	15:15	15:15	16:17	16:17	17:47	17:47
鯉ヶ沢中	12:05	12:01	15:17	15:17	16:19	16:19	17:49	17:49
山	12:06	12:02	15:18	15:18	16:20	16:20	17:50	17:50
山北口	12:07	12:03	15:19	15:19	16:21	16:21	17:51	17:51
山北口	12:08	12:04	15:20	15:20	16:22	16:22	17:52	17:52
赤石公民館前	12:09	12:05	15:21	15:21	16:23	16:23	17:53	17:53
赤石駅前	12:09	12:05	15:21	15:21	16:23	16:23	17:53	17:53
赤石駅前	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
中央赤石	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
牛嶋	12:10	↓	15:22	↓	16:24	↓	17:54	↓
牛嶋下	12:11	↓	15:23	↓	16:25	↓	17:55	↓
鯉ヶ沢	12:12	↓	15:24	↓	16:26	↓	17:56	↓
日野田北口	12:15	12:10	15:27	15:26	16:29	16:28	17:59	17:58
日野田	12:16	12:11	15:28	15:27	16:30	16:29	18:00	18:00
川崎	↓	12:13	↓	15:29	↓	16:31	↓	18:01
川崎	12:18	12:14	15:30	15:30	16:32	16:32	18:02	18:02
山	12:18	12:14	15:30	15:30	16:32	16:32	18:02	18:02
山北口	↓	12:15	↓	15:31	↓	16:33	↓	18:03
山北口	↓	12:17	↓	15:33	↓	16:35	↓	18:05
山	↓	12:19	↓	15:35	↓	16:37	↓	18:07
山	↓	12:19	↓	15:35	↓	16:37	↓	18:07
山北口	↓	12:21	↓	15:37	↓	16:39	↓	18:09
山	↓	12:21	↓	15:37	↓	16:39	↓	18:09
山	↓	12:22	↓	15:38	↓	16:40	↓	18:10
山	↓	12:25	↓	15:41	↓	16:43	↓	18:13
山北口	↓	12:25	↓	15:41	↓	16:43	↓	18:13
山北口	↓	12:27	↓	15:43	↓	16:45	↓	18:15
山北口	↓	12:29	↓	15:44	↓	16:46	↓	18:16
山	↓	12:29	↓	15:45	↓	16:47	↓	18:17
山	12:22	15:34	16:36	18:06	18:06	18:46	18:46	
山	12:24	15:36	16:38	18:08	18:08	18:48	18:48	
山	12:25	15:37	16:39	18:09	18:09	18:49	18:49	
山	12:29	15:41	16:43	18:13	18:13	18:53	18:53	

※一部変更となりますので、変更時刻表でご確認ください。/案内の1があるバス停は運行しない箇所です。  
※7時台の便では特別な乗継がない限りはバス停で降車しません。/バスは道路状況等で遅れることがあります。

図 あじバス時刻表冊子

## 課題 4

## 適切な財政負担で公共交通を維持していくことが必要

- 今後も安心して通学や外出ができる環境を維持していくことが重要であるため、公共交通に対する適切な財政負担の維持に向けて、限りある財源を取捨選択しながら、効率的に運行を行うことが必要となる。

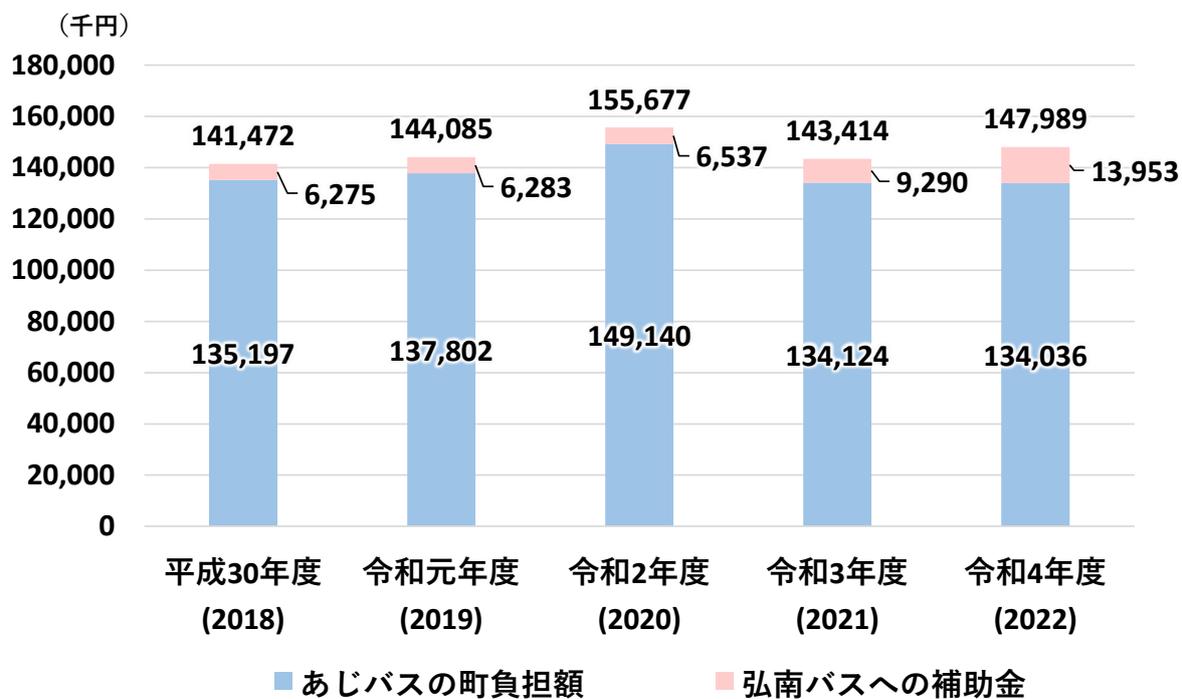


図 町の公共交通に係る財政負担額の推移

課題5

町民と共に公共交通を守り支える環境づくりが必要

○時刻変更が生じるあじバスの運行内容を適切に町民に伝えるための情報発信の強化を行うとともに、公共交通が置かれた実態や利便性を伝えることで、公共交通を町民と共に守り支える環境づくりの推進が必要となる。

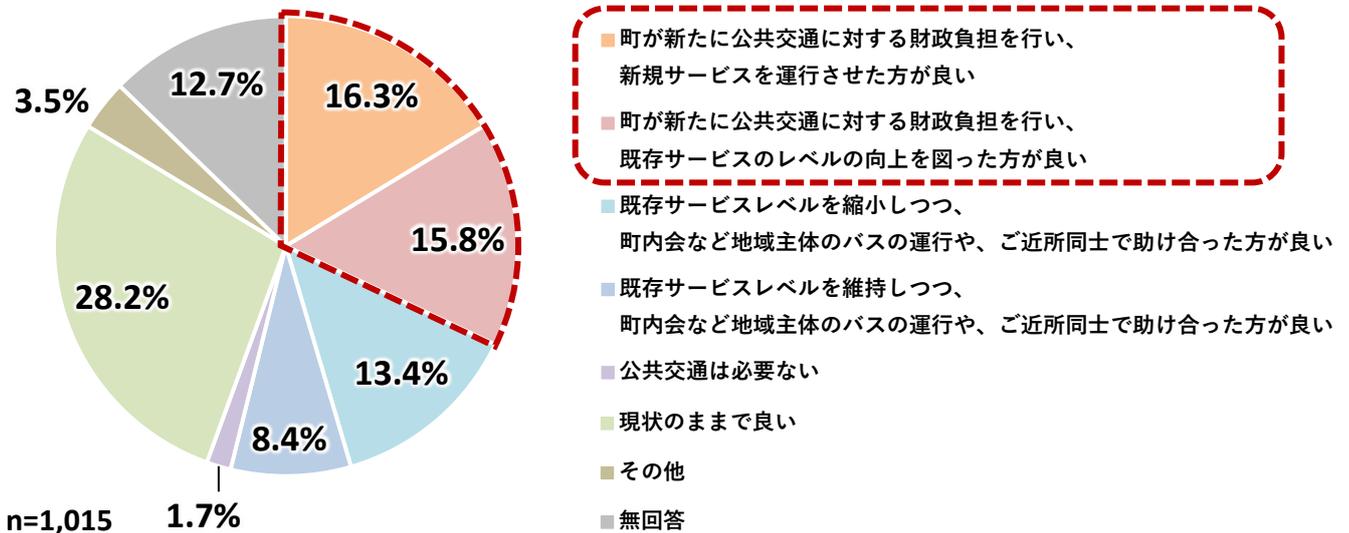


図 公共交通のあり方に対する考え(令和4年度 町民アンケートより)

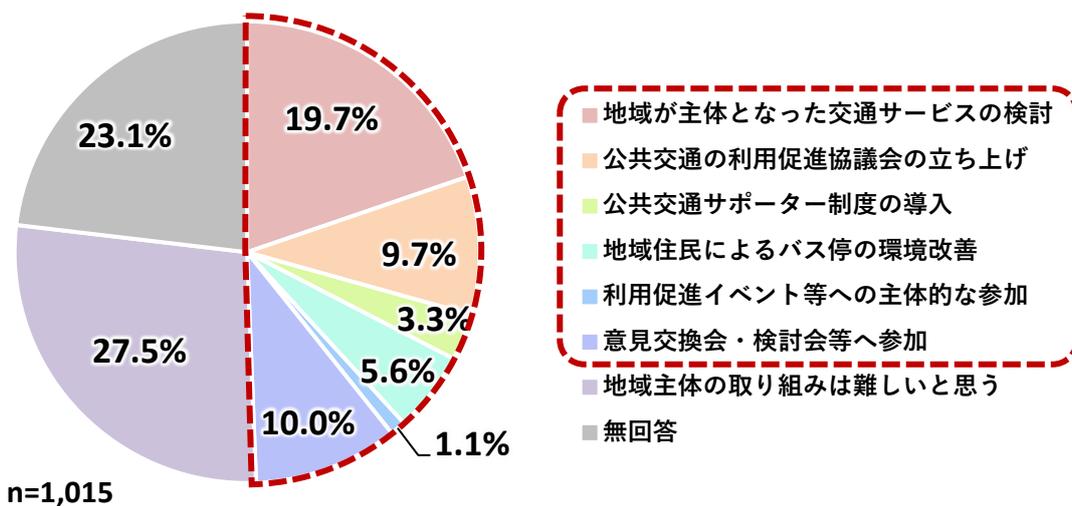
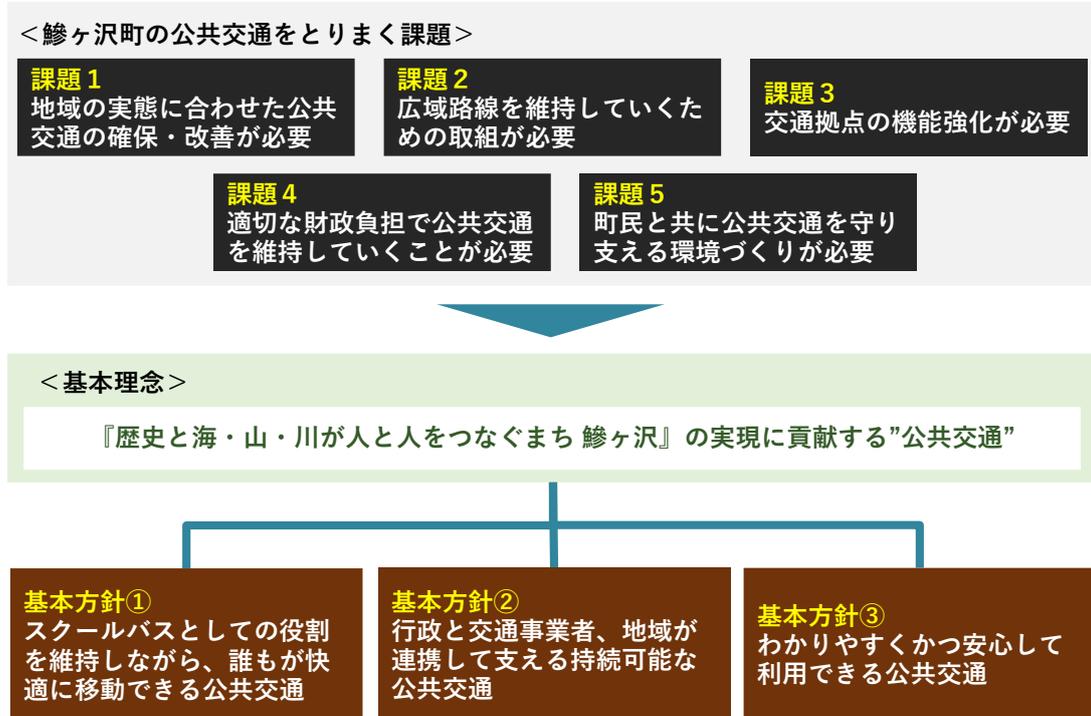


図 移動手段確保に向けた地域で取り組めると考える内容(令和4年度 町民アンケートより)

# 5. 計画において目指す方向性

## 5-1 計画の基本理念と基本方針

○各種調査結果や町の公共交通をとりまく課題整理を踏まえ、これからの本町の公共交通ネットワークの形成に向けた計画の理念と方針を以下のとおり掲げる。



## 5-2 計画の基本目標

○基本方針を踏まえ、地域公共交通に関する問題点や課題の克服に向けて次のような目標を設定する。

<b>基本方針①</b> スクールバスとしての役割を維持しながら、誰もが快適に移動できる公共交通	<b>目標 1：町民の町内移動を支える持続可能な交通ネットワークの構築</b> 町民の移動手段を維持していくため、地域の実態に合わせた効率的な運行体系の構築を目指す。 また、利用しやすい環境を整えることで、将来的に町民の移動を支える公共交通ネットワークの構築を行う。
<b>基本方針②</b> 行政と交通事業者、地域が連携して支える持続可能な公共交通	<b>目標 2：本町と町外を結ぶ広域路線の維持</b> 行政が交通事業者の協力を得ながら主体的に運行を行う町内路線と施設・団体が主体的に運行を行う公共交通以外の町内移動サービス、交通事業者が主体的に運行する広域路線の連携を強化し、町内だけでなく町外への移動利便性も向上させることで、広域路線の維持を目指す。
<b>基本方針③</b> わかりやすくかつ安心して利用できる公共交通	<b>目標 3：町民の公共交通に対する意識の向上</b> 町民に対して公共交通を自発的に利用してもらえるよう、実態や必要性を伝えるなどの理解を深める取組を進め、公共交通の利用者の確保や将来的な就職先の選択肢の1つとして、公共交通の担い手が含まれるきっかけづくりを目指す。

### 5-3 目標の評価指標

○前項で定めた目標の達成状況を把握するために、以下の評価指標を定める。

#### 目標1：町民の町内移動を支える持続可能な交通ネットワークの構築

→町内の公共交通を効率化・利便性を向上させ、利用者を増やすことで、持続可能な交通ネットワークの構築が達成されたと判断する

指標①：あじバスにおける年間利用者数(高校生以上)



指標②：あじバスに係る町の財政負担額



指標③：あじバスに係る満足度の平均値



#### 目標2：本町と町外を結ぶ広域路線の維持

→町内外の移動利便性を向上させ、利用者を増やすことで、将来的にも本町と町外を結ぶ広域路線の維持が達成されたと判断する

指標④：町内における弘南バス路線の年間乗降者数



#### 目標3：町民の公共交通に対する意識の向上

→公共交通に対する利用促進・意識醸成・情報発信を行い、町民の利用機会を生み出すことで、町民の公共交通に対する意識の向上が達成されたと判断する

指標⑤：公共交通出前講座の開催回数

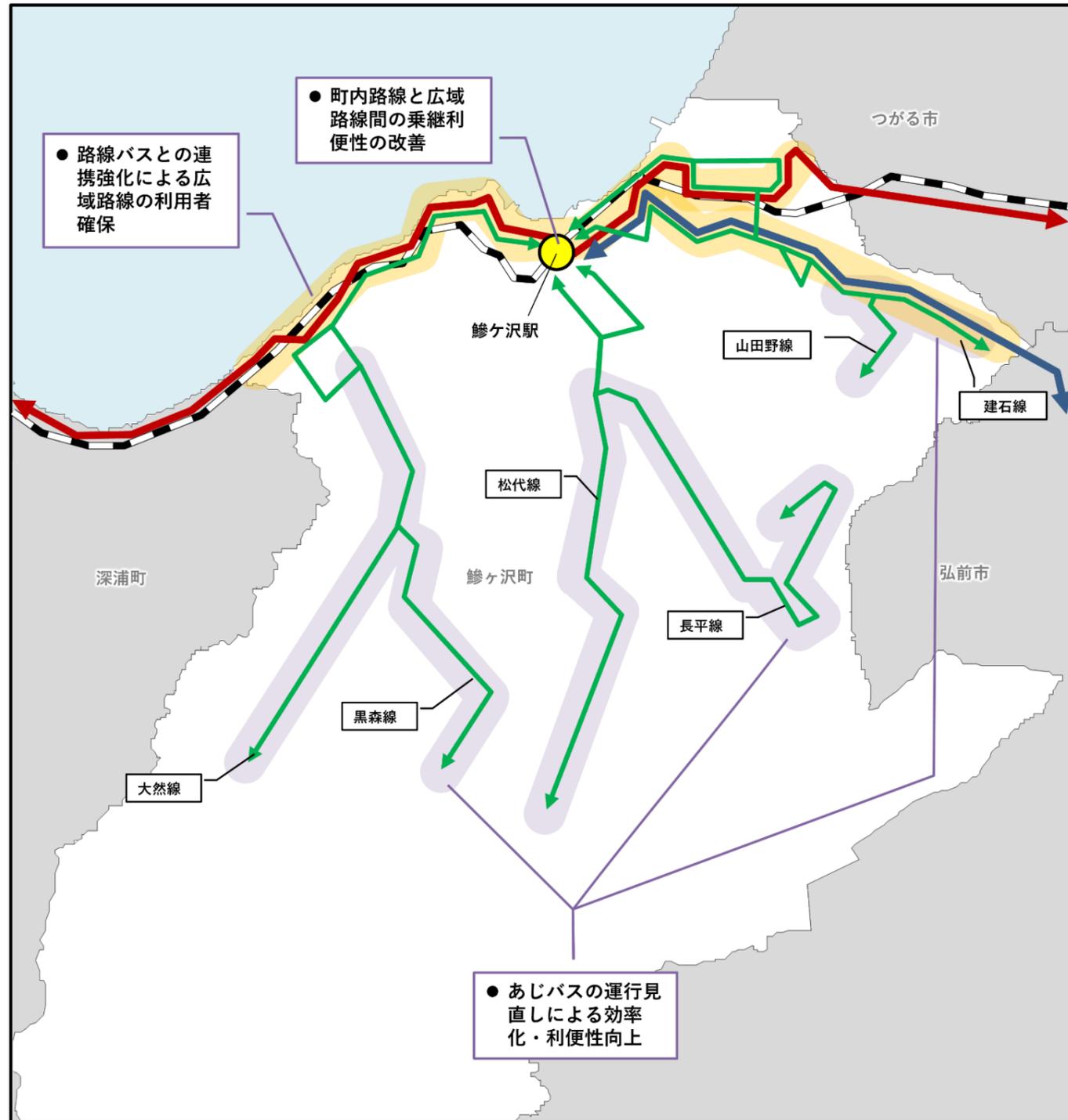


指標⑥：人口1人あたりのあじバスの年間利用回数(高校生以上)



### 5-4 公共交通ネットワークの将来イメージ

○本計画で目指す公共交通ネットワークイメージを以下に示す。



● 交通拠点

— 広域連携軸（鉄道）：市町村間を跨ぐ広域路線のうち、運行形態が鉄道であるもの

→ 地域間連携軸（幹線）：広域路線バスのうち、地域間幹線系統に指定される路線であるもの

→ 地域間連携軸（幹線以外）：広域路線バスのうち、地域間幹線系統に指定されないもの

→ 地域内フィーダー系統：地域間幹線系統に接続する路線のうち、定路線で運行するもの

※図は鱒ヶ沢町が目指す地域公共交通の将来イメージであり、今後、具体的な運行ルートや運行時刻、運賃などの調整を進める。また、今後の社会情勢などの変化によっては、将来イメージが変わる場合がある。

表 補助系統に係る事業及び実施主体の概要

系統区分	系統名	起点・終点	接続する地域間幹線系統・バス停	運行事業者	事業許可区分・運行態様	補助事業の活用区分
定時定路線	黒森線	鱒ヶ沢病院～黒森	鱒ヶ沢駅前など	マルイチ工業株式会社	4条乗合・路線定期運行	フィーダー補助
	大然線	鱒ヶ沢病院～大然	鱒ヶ沢駅前など	マルイチ工業株式会社	4条乗合・路線定期運行	フィーダー補助
	松代線	鱒ヶ沢中学校～松代	鱒ヶ沢駅前など	マルイチ工業株式会社	4条乗合・路線定期運行	フィーダー補助
	長平線	鱒ヶ沢中学校～和開開拓	鱒ヶ沢駅前など	西海観光株式会社	4条乗合・路線定期運行	フィーダー補助
	建石線	鱒ヶ沢中学校～餅ノ沢	鱒ヶ沢駅前など	西海観光株式会社	4条乗合・路線定期運行	フィーダー補助
	山田野線	鱒ヶ沢中学校～山田野南口	鱒ヶ沢駅前など	西海観光株式会社	4条乗合・路線定期運行	フィーダー補助

#### ■地域公共交通確保維持改善事業の必要性

本町は、高齢化率が40%を超え、人口減少・高齢化が急速に進んでおり、町内全域が過疎地域の指定を受けている交通不便地域である。

本町においては「鱒ヶ沢町コミュニティバス」が町内を運行しており、交通結節点となるJR鱒ヶ沢駅においてJR五能線及び民間の路線バスに接続し、近隣市町への移動が可能となっている。日常の移動を自家用車に頼っている人が多いなか、高齢運転者の運転免許証自主返納など、今後運転することができない高齢者が増加することが予想され、移動手段確保の重要性がますます高まっている。

また、本町にはサテライト病院としての鱒ヶ沢病院はあるものの、高度医療を担う中核病院や専門性の高い診療科への通院は近隣の五所川原市や弘前市への移動が必要である。さらには、町内各地に点在する観光地・観光施設などへの移動手段として、基軸となる地域間幹線バスや鉄道との密接なフィーダー系統（黒森線、大然線、松代線、長平線、建石線、山田野線）の確保・維持が必要不可欠である。

このため、地域公共交通確保維持改善事業により、山間地域と中心市街地とを結ぶ路線を継続的、広域的に確保・維持し、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。

## 6. 目標を達成するための施策と推進体制など

### 6-1 目標と施策の関係性

- 各目標に対して、それぞれ以下のような施策を行うことで達成を目指す。
- 各施策の詳細については次ページ以降に示す。

#### 目標1を達成するための施策

##### 目標1：町民の町内移動を支える持続可能な交通ネットワークの構築

- 施策1：あじバスの運行見直しによる効率化・利便性向上
- 施策2：わかりやすいバス停表示の構築
- 施策3：誰にでもやさしい車両の導入検討

#### 目標2を達成するための施策

##### 目標2：本町と町外を結ぶ広域路線の維持

- 施策4：路線バスとの連携強化による広域路線の利用者確保
- 施策5：町内路線と広域路線間の乗継利便性の改善
- 施策6：公共交通以外の移動サービスとの連携

#### 目標3を達成するための施策

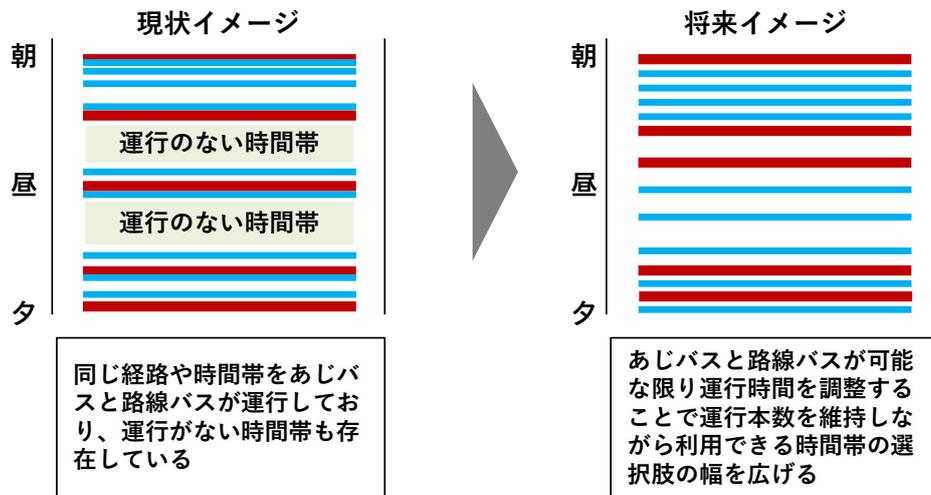
##### 目標3：町民の公共交通に対する意識の向上

- 施策7：イベントや観光施設との連携などによる利用機会の創出
- 施策8：公共交通利用意識の醸成に向けた出前講座の開催
- 施策9：デジタル技術を活用した新たな情報発信方法の検討

## 6-2 目標1を達成するための施策

### 施策1：あじバスの運行見直しによる効率化・利便性向上

- あじバスと路線バスが重複する路線について、運行ダイヤの調整を行い、利用者の集約を図り、限りある交通資源を有効に活用する。
- 通学便について、将来的な教育環境の整備状況や児童・生徒数の変化に応じて路線の再編を行い、運行効率化を図る。
- 効率化により得られた資源（財源・乗務員・車両）を活用し、新たな便などの導入を検討する。
- 市街地の周遊利便性をさらに高めるため、他のあじバスとの乗継時間を考慮したダイヤ連携を行う。



※あくまでも便の偏りをバランスよく再編する方向性を示すものであり、必ずしもこのとおり路線再編が行われるものではないことに注意

図 路線再編のイメージ（運行時間帯）

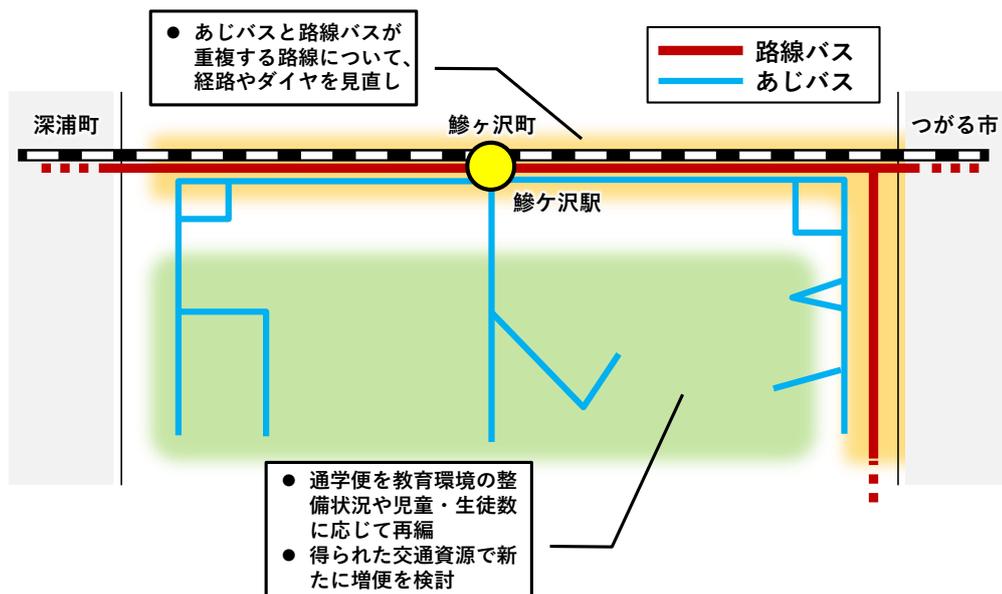


図 路線再編のイメージ（対象区間）

### 施策2：わかりやすいバス停表示の構築

- 時刻表の表示をわかりやすいものに見直す。
- 多くの路線が乗り入れる区間において、行先ごとの表記や色分けなどの工夫を行う。



図 現在のあじバスのバス停

### 施策3：誰にでもやさしい車両の導入検討

- 社会情勢の変化や求められるニーズに合わせ、低床車両やE V車両などの次世代車両の導入を検討する。



図 反転式スロープ板（東京都交通局）

出典：国土交通省バリアフリー整備ガイドラインより

### 6-3 目標2を達成するための施策

#### 施策4：路線バスとの連携強化による広域路線の利用者確保

- あじバスと連携し、重複する運行ダイヤの調整を検討する。(施策1と関連)
- 広域路線バスの利便性を高め、路線の維持を図るため、利用者確保に向けた支援策を検討する。

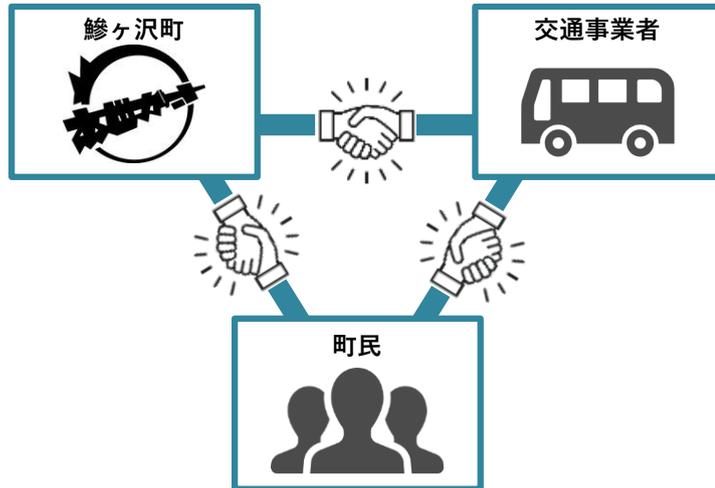


図 連携イメージ

#### 施策5：町内路線と広域路線間の乗継利便性の改善

- 交通拠点である鯉ヶ沢駅において、あじバスと鉄道、路線バスとの乗継時間が長大かつ短小にならないよう調整を図る。



図 乗継時間の検討イメージ

**施策6：公共交通以外の移動サービスとの連携**

- 公共交通以外の移動サービスを提供する事業者・団体と町や交通事業者が適切に連携するために、ネットワークの構築を行う。
- 互いに意見を出し合うことで、あじバスや路線バスの隙間需要の解消策を検討する。

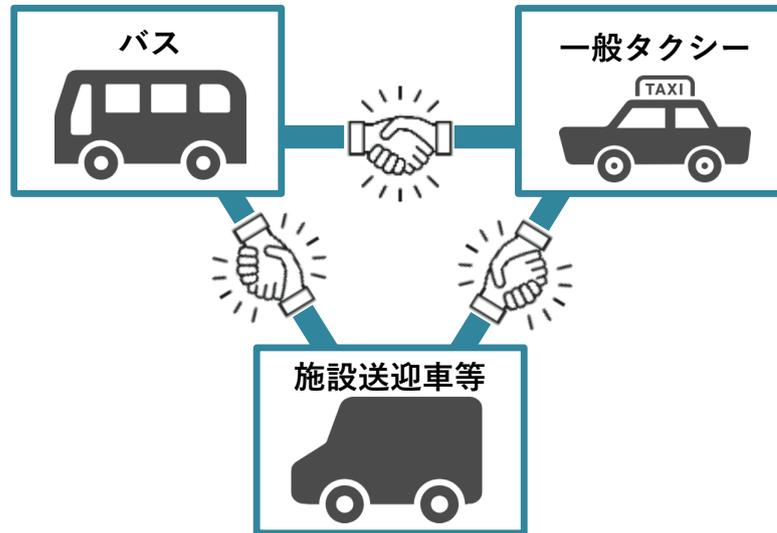


図 公共交通以外の移動サービス同士の連携イメージ

**6-4 目標3を達成するための施策**

**施策7：イベントや観光施設との連携などによる利用機会の創出**

- 町内のイベントや施設と連携した企画を導入するなど、公共交通の利用支援策を検討する。

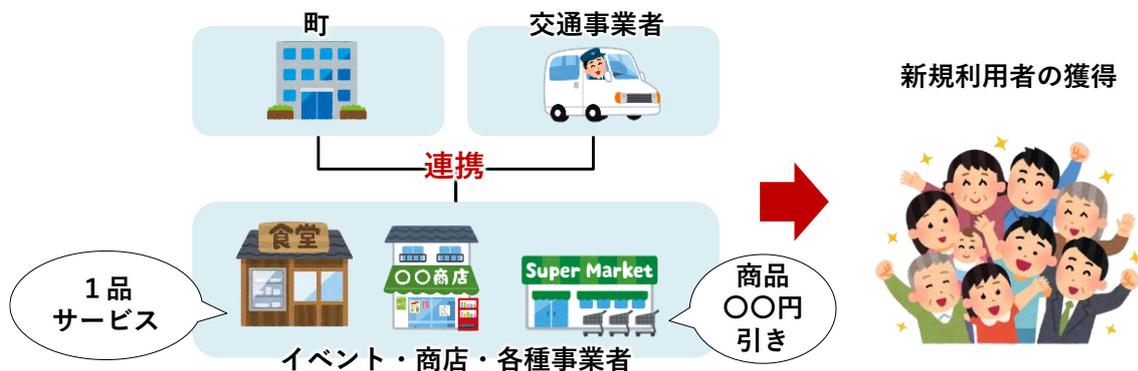


図 イベントや施設との連携イメージ

### 施策 8：公共交通利用意識の醸成に向けた出前講座の開催

- 町民に対し、公共交通の利用方法や必要性など、公共交通を守り支える意識の醸成を図るための公共交通出前講座を開催する。



図 出前講座イメージ（深浦町）

### 施策 9：デジタル技術を活用した新たな情報発信方法の検討

- 利用者の利便性向上を図るため、バスロケーションシステム（位置情報の提供）やデジタルサイネージ（案内版）などの導入を検討する。
- 公共交通データの提供（オープンデータ化）により、運行情報検索の実現を図り、わかりやすい情報発信を行う。

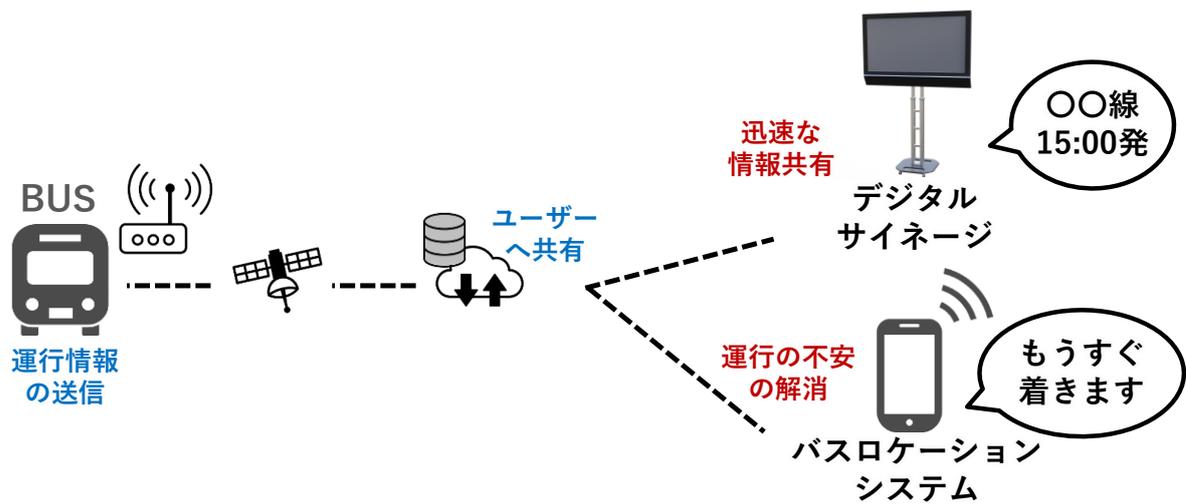


図 デジタル技術の活用イメージ

6-4-1 事業体系とスケジュール

○前項で定めた本町における公共交通の基本方針および基本目標に基づき、以下に示す事業・スケジュールでの実施を検討する。

表 事業体系とスケジュール

区分	施策	施策内容	R6			R7			R8			R9			R10			実施主体			
			前期	中期	後期	前期	中期	後期	前期	中期	後期	前期	中期	後期	前期	中期	後期	町	交通事業者	町民・地域	関係市町村
目標1を達成するための施策	1	あじバスの運行見直しによる効率化・利便性向上	先行して取り組める路線から適宜見直し、検証を行いつつ対象路線を拡大						評価検証（利用者数・収支・効率性など）を行いながら定期的に見直し						○	○					
	2	わかりやすいバス停表示の構築	新デザインの検討・バス停設置						運行内容の変更に合わせて更新						○	○					
	3	誰にでもやさしい車両の導入検討							車両更新のタイミングに合わせて適宜実施						○	○					
目標2を達成するための施策	4	路線バスとの連携強化による広域路線の利用者確保	運行システムの構築→運行開始（必要に応じて実証運行）						評価検証（利用者数・収支・効率性など）を行いながら定期的に見直し						○	○		○			
	5	町内路線と広域路線間の乗継利便性の改善	施策1に合わせて実施						評価検証（利用者数・収支・効率性など）を行いながら定期的に見直し						○	○		○			
	6	公共交通以外の移動サービスとの連携	連携体制の構築			取組の検討			協議が整い次第実施						○	○	○				
目標3を達成するための施策	7	イベントや観光施設との連携などによる利用機会の創出	連携先の確認・協議						協議が整い次第実施						○	○	○				
	8	公共交通利用意識の醸成に向けた出前講座の開催							毎年複数回定期的に実施						○	○	○				
	9	デジタル技術を活用した新たな情報発信方法の検討	GTFSの構築						必要に応じて常に最新情報に更新						○	○					
						情報発信媒体の検討			協議が整い次第導入						○	○					

## 6-5 計画の推進体制と推進方法

### 6-5-1 計画の推進体制

- 計画の推進にあたっては、鰯ヶ沢町が中心となって町民・交通事業者・関係主体などと連携・協働しつつ取り組むとともに、それぞれの主体に基本的な役割を分担する。
- 今後も引き続き下記の関係主体などから構成された『鰯ヶ沢町地域公共交通協議会』のもとで会議による管理のもと、計画全体の推進および事業の進捗状況の確認、目標の達成状況の確認などを行い、計画の着実な推進をする。

表 関係する主体と基本的な役割

区分	基本的な役割
<b>鰯ヶ沢町</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画全体を進行する役割を担い、主体的に計画の管理および推進を図るとともに、公共交通の確保・維持に向けた検討を行う。</li> <li>○また、他の分野とも連携を図るための“橋渡し”となる役割を担い、町全体での取組の推進を図る。</li> </ul>
<b>地域住民</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共交通の利用者の目線から、公共交通の改善に向けて積極的な意見・アイデアを発案する役割を担う。</li> <li>○また、鰯ヶ沢町とともに公共交通を支えるなど、協働の取組による公共交通の確保・維持に向けた取組の展開を図る。</li> </ul>
<b>交通事業者</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共交通の運営・運行主体として、本計画に基づいた事業の展開を行うとともに、鰯ヶ沢町とともに持続可能な公共交通に向けた検討を進める。</li> </ul>
<b>関係機関</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鰯ヶ沢町や交通事業者などと連携した取組の検討を行う。</li> </ul>
<b>国・県</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的な統括の視点や、他地域での事例などを踏まえながら計画の推進に対して助言するとともに、監査としての判断をする。</li> </ul>
<b>道路管理者・ 交通管理者</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道路行政の視点から公共交通運営の正当性・妥当性について判断する。</li> </ul>
<b>有識者</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本計画に示す事業の実施方針等について、多角的な視点から助言等を行う。</li> </ul>

6-5-2 計画の推進方法

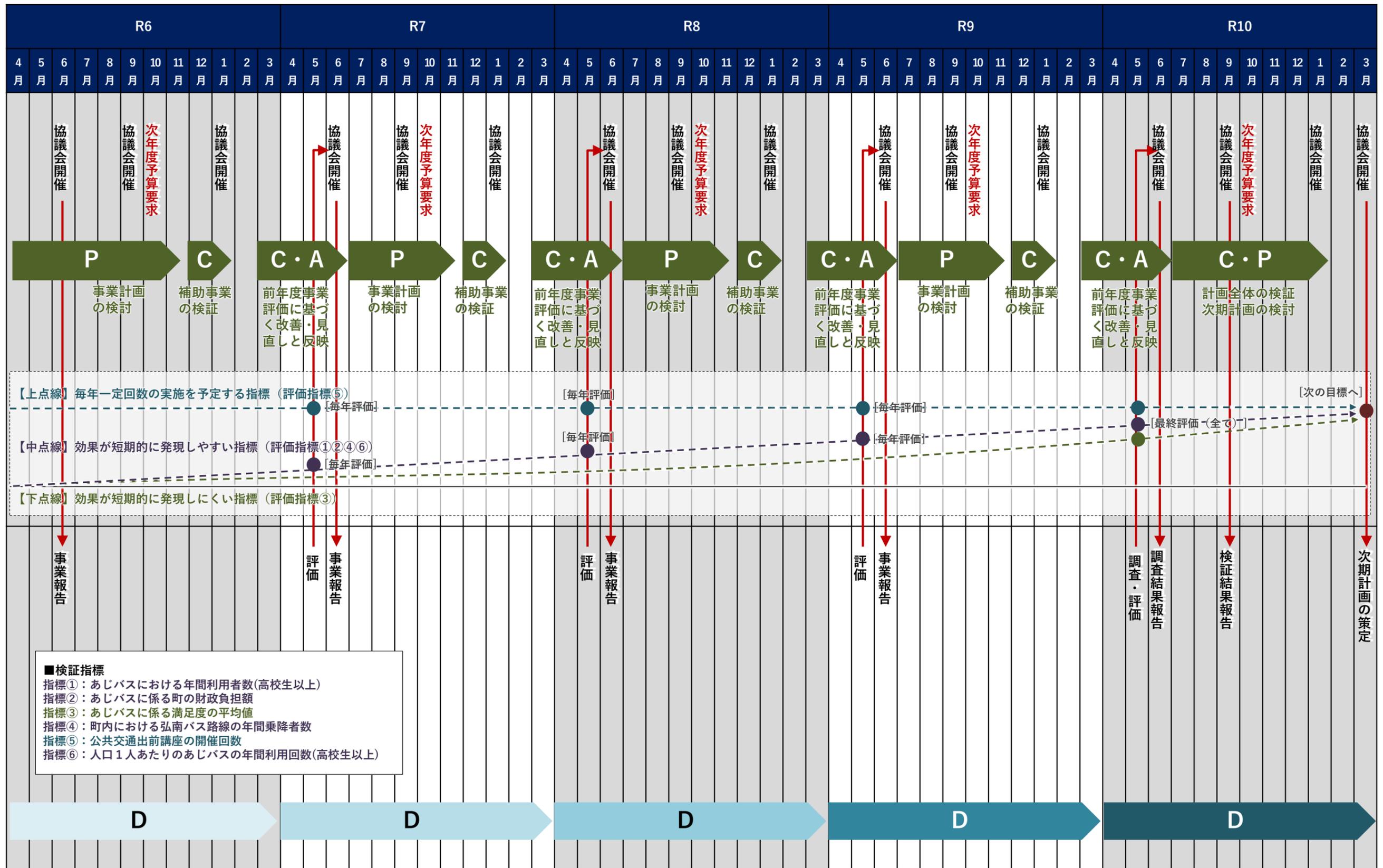
- 本計画における基本目標の達成状況・事業の効果を検証するため、指標・目標値を設定する。
- 各基本目標の達成状況について継続的にモニタリングを行い、事業ごとにPDCAサイクル（計画（PLAN）・実行（DO）・評価（CHECK）・改善（ACTION）の循環検討手法）の考え方にに基づき、検証を実施する。
- 具体的に示す事業・事業内容を踏まえて指標及び目標値を設定し、本計画による定量的な効果について把握する。



図 PDCA サイクルイメージ

※PDCA サイクルとは、計画→実施→検証・評価→改善・見直しを繰り返しながら、継続的な改善を行う仕組みのこと。

●PDCA サイクルの取組スケジュール





# 鱒ヶ沢町地域公共交通計画

策定：令和 6 年〇月

発行・編集：鱒ヶ沢町